

埼玉県行政書士会 浦和支部

創立50周年記念誌



埼玉県行政書士会浦和支部

埼玉県行政書士会浦和支部 創立50周年記念式典



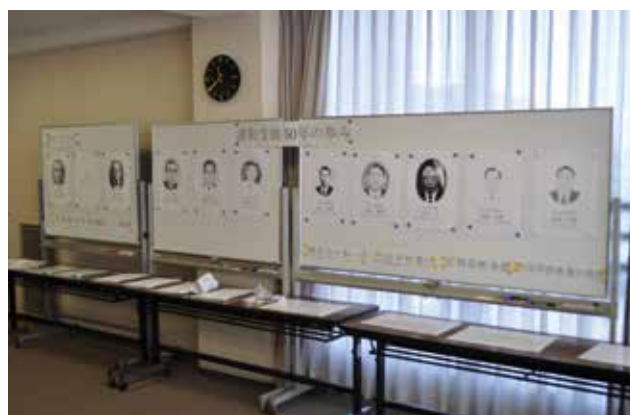
内田貴法務省参与ご挨拶



荒岡克巳本会会長ご挨拶



ご来賓の方々



浦和支部50年のあゆみと歴代支部長のパネル展示



会場の様子



司会の福永正子副支部長



感謝状贈呈



受賞される赤坂博道顧問



受賞者の皆様



乾杯のご発声(赤坂博道顧問)



歓談する支部会員



清水勇人さいたま市長ご挨拶



浦和支部50年を振り返る(関健一相談役)



万歳三唱で発声(矢舗昭二相談役)



創立50周年プロジェクトチーム



万歳三唱

埼玉県行政書士会浦和支部 創立50周年記念講演



会場の様子



司会の山崎智博総務部長



開会のことば(小栗重美副支部長)



赤坂昌雄支部長挨拶



内田貴法務省参与ご講演の様子



当日の運営にあたった
支部役員・会員

目次

埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念式典	1
埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念講演	4
挨拶 埼玉県行政書士会浦和支部支部長 赤坂昌雄	6
祝辞 さいたま市長 清水勇人	7
埼玉県行政書士会浦和支部歴代支部長紹介	8
年表	10
埼玉県行政書士会浦和支部50年のあゆみ	12
埼玉県行政書士会浦和支部支部事業の展開	45
総会	45
車庫証明	46
建設業	47
市民相談	48
研修	49
一泊研修旅行	50
日帰り研修旅行	51
新会員交歓会・新年会	52
会報浦和支部	53
ホームページ	54
定期健康診断	55
埼玉県行政書士会浦和支部支部組織の変遷	56
埼玉県行政書士会浦和支部組織図	58
埼玉県行政書士会浦和支部会員増加率の推移・年間行事	59
編集後記・メンバー紹介	60



挨拶

埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年 ごあいさつ

埼玉県行政書士会浦和支部支部長 **赤坂 昌雄**

埼玉県行政書士会浦和支部は、平成25年で創立50周年を迎えることができました。

これもひとえに、支部会員の皆様と黎明期から営々とご尽力をされた先輩諸氏の皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。

行政書士法の制定と埼玉県行政書士会の創立が昭和26年、浦和支部の創立が昭和38年です。創立時の会員数は不明ですが、12年後の昭和50年の会員数は65名に過ぎませんでした。それが、会員数244名（平成25年4月1日現在）になりました。また、平成26年2月22日に実施された支部創立50周年記念事業の講演会には310名の参加者がありました。これは、支部単独の事業としては大変な数字です。

ここで、浦和支部の諸事業を少しだけ振り返ってみましょう。

まず、許認可業務の代表例として建設業をみてみますと、昭和46年に建設業が登録制度から許可制度に改正されました。この転換期に行政書士以外の申請が頻発、混乱が生じました。浦和支部では、この事態に対応すべく昭和51年、直ちに「浦和支部建設業部会」を発足させ、この事態に対応しました。昭和54年には、浦和支部が中心となり入札指名

参加の相談コーナーまで開設しています。

「車庫証明業務」については、日本自動車販売協会連合会と日本行政書士会連合会との取扱いに関する合意がなされたのが昭和52年ですが、それに先立つ昭和50年には「車庫証明業務センター」を設置し対応しました。平成2年のピーク時には、浦和支部全体で8,000件弱の受託件数がありました。

次に「市民相談」ですが、いまでもどこへでも開催されていますが、浦和支部は40年も前の昭和51年に、初めて浦和市役所にて開催しました。これは当時としては、画期的なことでした。現在では、さいたま市で年間延べ40回近く開催するまでになりました。

また行政書士業務の拡充強化を図るため、研修に力を入れているのも浦和支部の特徴で、現在では支部独自に年3、4回の研修会を活発に行っております。

今日、行政は国民の生活、経済のすみずみに積極的に関わってきます。この行政国家現象のもとでは、行政書士の役割は潜在的に非常に大きなものがあります。コンプライアンスのもと、各自不断に業務の研鑽を積むことが肝要です。そのお手伝いをするのが、浦和支部の重要な仕事です。

この50周年は、次の100年にむけた第一歩です。志を高く掲げて歩んでいきましょう。



祝 辞

「埼玉県行政書士会浦和支部五十周年」 によせて

さいたま市長 **清水 勇人**

このたびは、埼玉県行政書士会浦和支部が創立五十周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

行政書士の業務には、交通事故、相続、法人の設立等の各種相談や申請の他、市民生活全般の権利に関するものまで数千種類にも及ぶ業務があると聞いております。また、今日では、複雑かつ多様な許認可手続きの業務も増え、高度情報通信社会における行政手続きの専門家として大きく期待されているところであります。こういった業務を通じて、市民の生活上の権利や利益が守られるとともに、効率的な事務処理が確保されていることから、行政書士制度の必要性は極めて高いものがあり、今後も変わるものではないと考えております。

そのように重要で多岐にわたる行政書士業務で多忙を極める中、頼れる街の身近な法律家として無料相談等の社会貢献活動を実施するなど、多大な御貢献をいただいておりますことは誠に心強く、埼

玉県行政書士会浦和支部会員の皆様方の御尽力に深く敬意を表する次第です。本市においても、皆様方のご協力により市民相談を実施しており、悩みを抱えて訪れる市民の問題を解決していただいておりますことに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

常日頃より、市政各般にわたり皆様方の御支援をいただいているところではございますが、これから急速に進む少子高齢化や人口減少、そしてグローバル化、さらに厳しくなる都市間競争の中で、今後も引き続き、「しあわせ実感都市 選ばれる都市 さいたま市」の実現を目指して、積極的にまちづくりに取り組んでまいりますので、さいたま市のさらなる発展と市民のさらなるしあわせの実現のため、なお一層のお力添えを賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

結びに、埼玉県行政書士会浦和支部の益々の御発展を心より祈念いたしまして、お祝いの御挨拶とさせていただきます。

埼玉県行政書士会浦和支部 歴代支部長紹介



初代支部長
(昭和38年～昭和44年)
本郷 栄太郎 氏

第2代支部長
(昭和44年～昭和50年)
長島 慎司 氏



第3代支部長
(昭和50年～昭和56年)
関口 隆 氏



第4代支部長
(昭和56年～昭和60年)
赤坂 博道 氏



第5代支部長
(昭和60年～平成3年)
高橋 行夫 氏



第6代支部長
(平成3年～平成7年)
矢舖 昭二 氏



第7代支部長
(平成7年～平成11年)
田口 邦雄氏



第8代支部長
(平成11年～平成13年)
尾山 繁雄氏



第9代支部長
(平成13年～平成17年)
安田 章氏



第10代支部長
(平成17年～平成21年)
近藤 定雄氏



第11代支部長
(平成21年～現在)
赤坂 昌雄氏

年 号	浦和支部のあゆみ	
昭和26年(1951)		
昭和35年(1960)		
昭和38年(1963)	■浦和支部創立(支部区域＝浦和市、与野市、及び現朝霞市、志木市、和光市、新座市) ■初代支部長に本郷栄太郎氏就任	
昭和46年(1971)	■第2代支部長に長島慎司氏就任(就任年月日不詳)	
昭和48年(1973)		
昭和50年(1975)	■第3代支部長に関口隆氏就任 ■支部研修会開催・車庫証明業務センター設置 ■「会報浦和支部」(「浦和支部報」として)第1号発行(手書きガリ版刷)	
昭和51年(1976)	■市民相談業務開始・浦和市役所市民相談室内に「行政書士相談コーナー」設置	
昭和53年(1978)	■一泊研修旅行実施、以降毎年実施	
昭和54年(1979)	■定期健康診断を実施、以降平成21年まで実施	
昭和55年(1980)		
昭和56年(1981)	■浦和支部会員の本郷栄太郎氏が第5代埼玉県行政書士会会長に就任 ■第4代支部長に赤坂博道氏就任	
昭和58年(1983)	■浦和支部から朝霞支部が分離独立(朝霞市、志木市、和光市、新座市)	
昭和60年(1985)	■第5代支部長に高橋行夫氏就任 ■支部規則全面改正(理事15名以内、常任相談役新設、特別決議事項設置等) ■支部会員数が100名突破	
平成元年(1989)	■支部研修会開催、以後毎年定期的に開催	
平成2年(1990)	■与野市役所において市民相談事業開始	
平成3年(1991)	■第6代支部長に矢鋪昭二氏就任	
平成7年(1995)	■第7代支部長に田口邦雄氏就任	
平成9年(1997)		
平成10年(1998)	■支部研修会の充実(年2回開催から3回開催へ)	
平成11年(1999)	■第8代支部長に尾山繁雄氏就任	
平成13年(2001)	■第9代支部長に安田章氏就任	
平成15年(2003)	■赤坂博道氏行政書士功労で黄綬褒章受賞	
平成17年(2005)	■第10代支部長に近藤定雄氏就任 ■さいたま市市民相談事業の拡充(南区役所に加え中央区役所及び緑区役所で)	
平成18年(2006)	■支部研修会の充実(年3回開催から4回開催へ)	
平成20年(2008)	■浦和支部ホームページ開設 ■「会報浦和支部」通算第60号発行	
平成21年(2009)	■第11代支部長に赤坂昌雄氏就任 ■支部会員数200名突破	
平成22年(2010)	■浦和支部主催による「行政書士無料相談会」(コルソ7階ホール)開始	
平成23年(2011)		
平成24年(2012)		
平成25年(2013)	■支部会員数244名(4月1日現在)	
平成26年(2014)	■浦和支部創立50周年記念事業	

行政書士制度・埼玉県行政書士会の動向		社会の動き	記念式典
●行政書士法制定	●埼玉県行政書士会創立	●サンフランシスコ講和会議、対日講和、日米安保条約調印	記念講演
●行政書士法改正(強制入会制度)			
●会員数102名		●ケネディ暗殺	挨拶・祝辞
●行政書士法改正(単位会、日行連に法人格付与)		●建設業法改正(登録制から許可制へ)	
●浦和支部会員の本郷栄太郎氏が第3代埼玉県行政書士会会長に就任		●金大中拉致事件 ●石油危機始まる ●武蔵野線開業	歴代支部長紹介
●「行政埼玉」創刊号発行・本会事務局浦和市北浦和に移転。会員数343名		●ベトナム戦争終結	
		●浦和市役所新庁舎完成移転	年表
		●日中平和友好条約調印	
		●省エネ政策	50年の歩み
●行政書士法改正(社会保険労務士業務の分離)			
●行政書士法制定30周年記念式典		●紙幣デザイン一新	支部事業の展開
●行政書士法改正(国家試験へ移行、登録即時入会制へ移行)		●衆議院総選挙で自民党惨敗	
●行政書士法改正(行政書士登録制度の整備)		●埼京線開通	支部組織の変遷
●浦和支部会員の赤坂博道氏が第7代埼玉県行政書士会会長に就任		●消費税施行(3%)	
		●バブル景気崩壊	組織図・年間行事
		●湾岸戦争勃発	
		●阪神淡路大震災 ●地下鉄サリン事件	
		●消費税5%	
		●長野オリンピック	
●行政書士法改正(指定試験機関による行政書士試験の実施、報酬規定の全面削除)・埼玉県行政書士会館竣工		●改正住民基本台帳法成立 ●米輸入自由化・関税化	
●行政書士法改正(許認可書類の代理提出権、契約書類を「代理人」として作成)		●3市(浦和市、大宮市、与野市)合併、さいたま市誕生 ●埼玉高速鉄道 ●埼玉スタジアム2002開設	
●行政書士法改正(電磁的記録作成業務の明文化)		●イラク戦争勃発 ●さいたま市政令指定都市へ移行	
		●郵政解散による衆議院総選挙で自民党大勝 ●会社法(法律第86号)成立公布・平成の大合併進む	
●行政書士法改正(許認可等に関する聴聞等の代理業務の明文化)		●改正教育基本法成立	
		●チベット騒乱	
		●衆議院総選挙で民主党大勝	
		●子ども手当支給開始	
		●東日本大震災・福島第一原発事故	
●「行政書士ADRセンター埼玉」認証		●東京スカイツリー開業	
●会員数2,234名(7月1日現在)		●衆議院総選挙で自民党圧勝	
		●湘南新宿ライン浦和駅停車	
		●消費税8%	



埼玉県行政書士会浦和支部 50年のあゆみ

1. 支部創立 昭和38年(1963)以前

昭和26年(1951)

- ・行政書士法制定。埼玉県行政書士会創立。
- ・その後、数次に渡る法改正、行政書士制度の着実な発展。

昭和38年(1963)

- ・浦和支部創立。
- ＜支部区域＞浦和市、与野市、朝霞市、志木市、和光市、新座市の6市。
- ＜支部役員＞初代支部長本郷栄太郎。



2. 昭和40年(1965)代

- ・創立後10年間は、浦和支部の揺籃期ともいうべき時期。
- ＜支部役員＞第2代支部長長島慎司。

昭和48年(1973)

- ・定時総会。
 - ・埼玉県行政書士会で再生の動きが活発化。
- ＜本会役員＞本郷栄太郎会員が第3代本会会長に就任。
- ・浦和支部会員は、本会執行部の総務部長、経理部長、企画部長、厚生部長、監察部長など主要8部門のポストに就任し、本会再生に尽力。

昭和49年(1974)

- ・定時総会。

3. 昭和50年(1975)から 昭和59年(1984)まで

昭和50年(1975)

- ・関口隆会員、赤坂博道会員、及び高橋行夫会員の3氏が会合、浦和支部再生について話し合い、支部の再発足。
 - ・定時総会(7月5日)[場所]ほまれ会館[会員数]65名[議案]昭和49年度決算報告、昭和50年度予算案可決、支部規則改定、役員選出。
- ＜支部役員＞第3代支部長関口隆、副支部長栗原行雄、総務部長高橋行夫、経理部長兼業務指導部長赤坂博道、監察部長鈴木陸夫、広報部長本郷光太郎、相談役本郷栄太郎、長島慎司、小栗重昭、監事柴

田良治。

- ・「浦和支部報」第1号発行（8月9日）。手書きガリ版刷B5判2ページ（B4版二つ折）。
- ・**研修会第1回**（8月23日）〔会場〕埼玉会館〔テーマ〕「車庫証明申請、自賠責、示談書作成」〔講師〕加藤浦和警察署交通課長、赤坂博道業務指導部長。
- ・「浦和支部報」第2号発行（9月25日）。
- ・**研修会第2回**（10月18日）〔会場〕埼玉会館〔テーマ〕「風俗営業許可申請手続き」〔講師〕門間浦和警察署防犯課長。
- ・**研修会第3回**（12月6日）〔会場〕平安閣〔テーマ〕「新しく行政書士業務を始める会員のために」〔講師〕長島敬一上尾支部長。
- ・「車庫証明業務センター」（仮称）を設置（センター事務所・浦和市仲町4丁目2番17号、国道17号市役所入口交差点「ウラワコピー」内）。
- ・支部懇親忘年会（12月6日）。

昭和51年（1976）

- ・**定時総会**。
- ・「浦和支部報」第3号発行（1月10日）。
- ・「浦和支部報」第4号発行（5月1日）。表紙付き13ページの小冊子。
- ・浦和市役所において市民相談始まる（10月1日）。毎月2回。
- ・建設業務部会設置。

昭和52年（1977）

- ・**新年会**。
- ・「浦和支部報」第5号発行（3月18日）。
- ・**研修会**（4月23日）。
- ・**定時総会**（4月24日）〔場所〕南会津南郷村さゆり荘〔会員数〕72名〔議案〕昭和51年度決算報告、昭和52年度予算案可決、役員選出、支部規則の改正承認。

＜**支部役員**＞支部長関口隆（再選）、副支部長赤坂博道、総務部長高橋行夫、監察部長大畑三郎、企画部長柴田良治、建設業務部会長小栗重昭、相談役長島慎司他。

＜**支部規則改正**＞①支部入会金5,000円を7,000円に改正。②支部会費3,600円を5,000円に改正。③副支部長2名以内を3名以内、監事1名を2名以内に増員。業務指導部を廃止し、企画部と渉外部の二部を新設。

- ・浦和市役所において市民相談。
- ・非行政書士排除の取組み。
- ・「浦和支部速報」第1号発行（9月15日）。
- ・建設業務部会（第2回）（9月15日）〔場所〕浦和市民会館。
- ・「浦和支部速報」第2号発行（11月1日）。

昭和53年（1978）

- ・**定時総会**（6月17日）〔場所〕浦和市東晶大飯店〔議案〕昭和52年度事業報告、並びに決算報告、昭和53年度事業計画並びに予算案、支部規則改正。

＜**支部規則改正**＞入会金の規定を削除。

- ・浦和市役所において市民相談。
- ・一泊研修旅行（11月12日13日）〔行先〕南会津甲子温泉。
- ・車庫証明業務について説明会（12月23日）。

昭和54年（1979）

- ・「速報浦和支部」第4号発行（1月1日）。
- ・**新年会**（1月20日）〔会場〕かに八。
- ・支部会員数108名（昭和54年1月1日現在）。
- ・**定時総会**。

＜**支部役員**＞支部長関口隆、副支部長赤坂博道、高橋行夫、栗原行雄、総務部長柴田良治、経理部長石川光雄、企画部長斎藤新平、渉外部長大畑三郎、監察部長宮



下好男、監事村田善次郎、古島一他。

＜支部規則改正＞「厚生部」を新設。

- ・浦和市役所において市民相談。
- ・趣味のグループ募集（民謡、釣り、剣道、史跡探訪、謡曲、ゴルフ）。
- ・総合業務研修会（10月6日）[会場] 埼玉会館5階 [テーマ]「建設、農地」。
- ・一泊研修旅行（10月10日11日）[参加者] 19名 [行先] 房総小湊、しらさぎ荘（浦和市立海浜保養所）。
- ・健康診断実施（10月27日）[場所] 第一会場浦和市民会館507号室、第二会場レントゲン車内検査室 [受診者] 21名。[主な検診項目] 視力、血圧、心電図、コレステロール、胃・十二指腸（レントゲン・血液検査）、肝臓、尿検査。
- ・「速報浦和支部」第5号発行（11月13日）。
- ・業務別研修会（1）建設業（11月17日）[会場] 埼玉会館5D（2）一般行政（12月8日）[会場] 浦和市民会館 [テーマ]「会社設立、契約、示談、交通事故、告訴、告発」。
- ・研修資料「申請用紙実物収録」を編纂。
- ・渉外、監察活動実施（浦和支部関係市の市長、助役、総務、土木、建築、税務各部課を訪問、PRを兼ねて挨拶、要望）。

昭和55年（1980）

- ・新年会（1月12日）[会場] 川魚料理萬店。
- ・定時総会（6月14日）[場所] 浦和市民会館 [議長] 三野輪寿美男会員 [会員数] 110名 [出席者] 73名（うち委任状26名）[議案] 昭和54年度決算報告、昭和55年度事業計画案、昭和55年度予算案可決、一部役員の改選、支部規則の一部改正承認。

＜支部役員＞支部長関口隆（再々選）、副支部長赤坂博道、高橋行夫、斉藤新平、総務部長柴田良治、経理部長石川光雄、企画部長、渉外部長大畑三郎、監察部長宮

下好男、監事村田善次郎、古島一他。

＜支部規則改正＞（1）支部会費5,000円から8,000円に改正。（2）「車庫証明業務部」を新設。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 中川健吉浦和市長。

- ・浦和市役所において市民相談。
- ・「速報浦和支部」第6号発行（7月1日）。
- ・一泊研修旅行（10月25日26日）[行先] 塩原温泉郷。

昭和56年（1981）

- ・定時総会 [会員数] 130名。

＜支部役員＞第4代支部長赤坂博道。

＜本会役員＞本郷栄太郎会員が、再び第5代本会会長に就任。

昭和57年（1982）

- ・定時総会。
- ・新会員交歓会（9月15日）[会場] 浦和市民会館。新入会員5名参加。
- ・定期健康診断（10月7日）[受診者] 30名（支部全員の約30%の利用率）。
- ・行政書士イメージアップのポスター掲示活動（10月中）（日行連主催の「全国一斉監察強調月間」に呼応して）。
- ・一泊研修旅行（11月2日3日）[参加者] 23名 [行先] 甲府・増富温泉。
- ・「趣味の会」が日帰り旅行を実施（11月17日）[行先] 秩父札所巡り [参加者] 12名。
- ・研修会（11月20日）[会場] 浦和市民会館 [テーマ]「公正証書とその効用」[講師] 岡本清一浦和公証役場公証人 [参加者] 52名。

昭和58年（1983）

- ・新年会（1月8日）[会場] 鮎忠。
- ・臨時総会（3月5日）[議長] 厚沢長三会員

[出席者] 83名(うち委任状61名) [議案]
行政書士法改正に伴う本会会則改正の
ための臨時総会に送る代議員選出。

- ・ **研修会** (3月12日) [会場] 浦和市民会館
[テーマ] 「相続と遺言」 [講師] 岡本清一
浦和公証役場公証人 [参加者] 30名。
- ・ 「会報浦和支部」第12号発行 (3月31日)。
タブロイド版 (現存する最初のもの)。
- ・ 朝霞支部が浦和支部から分離 (4月1日)
[支部区域] 朝霞市、志木市、和光市、新
座市 [会員数] 33名。初代支部長大畑三
郎氏。



- ・**定時総会**(5月7日)[場所] 浦和市民会館
[議長] 栗原行雄 会員[会員数] 104名[出席者] 54名(うち委任状30名)[議案] 支部分割について、昭和57年度事業報告、同決算報告、昭和58年度事業計画案、同予算案可決、任期満了に伴う役員改選。
- <支部役員>** 支部長 赤坂博道(再選)、副支部長 高橋行夫、柴田良治、石川光雄、総務部長 矢鋪昭二、経理部長 岡田剛、企画部長 松井健、渉外監察部長 栗原行雄、広報部長 鈴木陸夫、厚生部長 野崎信広、相談役 小栗重昭、斉藤新平、関口隆、長島慎司、監事 宮下好男、瀬 恵寿。
- <本会役員>** 副会長 赤坂博道、理事 高橋行夫、柴田良治、石川光雄、車庫証明特別委員長 栗原行雄、理事・保健衛生風俗営

業部長矢舖昭二、相談役小栗重昭、関口隆。

- ・浦和市役所において市民相談。
- ・「地区別班編成」決まる、理事会決定(7月16日) [目的] 支部運営の円滑化、地区毎の会員の親睦。
- ・「会報浦和支部」第13号発行(9月15日)。
- ・一泊研修旅行(10月5日6日) [参加者] 23名 [行先] 上州老神温泉。
- ・定期健康診断(10月15日) [受診者] 23名。

昭和59年（1984）

- ・ **新年会** (1月7日) [会場] ふか川 [参加者] 32名 [来賓] 木内浦和市役所市民部長、村上浦和市役所市民相談室長、渡辺浦和西警察署長、八島浦和警察署交通課長、岸正雄大宮支部長、小泉徹馬川口支部長、大畑三郎朝霞支部長。
- ・ 「会報浦和支部」第14号発行 (3月31日)。
- ・ **定時総会** (5月12日) [場所] 浦和市民会館 [議長] 田口邦雄会員 [会員数] 109名 [出席者] 65名 (うち委任状41名) [議案] 昭和58年度事業報告、同決算報告、昭和59年度事業計画案、同予算案、支部規則一部改正 (案)、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部規則改正＞会費は「4月と10月2回に分納」を「4月に全納」に改正。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕山形浦和西警察署次長、木内浦和市役所市民部長、本郷栄太郎本会会長、岸正雄大宮支部長、森川征男川口副支部長。

- ・車庫証明業務がここ1、2年大きく伸展（浦和支部関係は対前年比38%増）。
- ・浦和市役所において市民相談〔担当相談員〕43名。
- ・対外広報活動（10月1日から7日）国鉄5駅にポスター掲示、ミニコミ紙に広告掲載。



- ・定期健康診断（10月13日）[会場] 浦和市民会館 [受診者] 29名。
- ・一泊研修旅行（10月21日22日）[参加者] 28名 [行先] 信州浅間温泉。
- ・「会報浦和支部」第15号発行（12月20日）。

4. 昭和60年(1985)から平成4年(1992)まで

昭和60年(1985)

- ・新年会（1月14日）[会場] ふか川 [来賓] 中川健吉浦和市長、井原勇与野市長他。
- ・「地区別班編成」で初の班別会議開催（与野地区）（3月23日）。
- ・定時総会（5月18日）[場所] 浦和市民会館 [議長] 宮本敦会員 [会員数] 109名 [出席者] 56名（うち委任状26名）[議案] 昭和59年度事業報告、同決算報告、昭和60年度事業計画案、同予算案、支部規則全面改正（案）、役員選任、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞第5代支部長高橋行夫、副支部長柴田良治、石川光雄、矢鋪昭二、総務部長田口邦雄、経理部長岡田剛、企画部長市川汪、渉外監察部長栗原行雄、広報部長宮本敦、厚生部長鈴木陸夫、顧問本郷栄太郎、常任相談役赤坂博道、相談役長島慎司、関口隆、小栗重昭、斉藤新平、三野輪寿美男。

＜支部規則改正＞目的条項の変更、理事若干名を10名以上15名以内に、常任相談役を新設、特別決議条項を新設（支部規則の改正、役員の解任に関して）。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 本郷栄太郎本会会長、青木博浦和警察署長、堀池正光浦和西警察署交通課長、萩原敏子浦和市民サービス課長、今村智親朝霞支

部相談役、菊池正川口支部長。

＜本会役員＞副会長赤坂博道、理事・広報部長柴田良治、理事高橋行夫、理事田口邦雄、理事・監察部長矢鋪昭二、車庫証明特別委員長栗原行雄、監事三野輪寿美男、名誉会長本郷栄太郎、相談役小栗重昭、相談役斉藤新平。

- ・政連支部が発足、初代支部長柴田良治。
- ・浦和市役所において市民相談[担当相談員] 36名。
- ・「会報浦和支部」第16号発行（5月25日）。
- ・浦和・与野地区車庫証明業務会の総会開催（6月15日）。
- ・「会報浦和支部」第17号発行（8月31日）。タブロイド版最後のもの。
- ・一泊研修旅行（10月5日6日）[参加者] 44名 [行先] いわき市、東海村原子力センター。

昭和61年(1986)

- ・定時総会（5月10日）[場所] 浦和市民会館 [議長] 野崎信広会員 [会員数] 111名 [出席者] 72名（うち委任状41名）[議案] 昭和60年度事業報告、同決算報告、昭和61年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 中川健吉浦和市長、栗原浦和警察署長、高見沢浦和西警察署交通課長、吉野浦和市民部長、萩原敏子市民サービス課長、赤坂博道本会副会長、本郷栄太郎本会名誉会長、菊池正川口支部長、岸正雄大宮支部長、小栗樺寿朝霞支部長。

- ・政連定期大会（5月10日）。
- ・浦和市役所において市民相談（担当相談員）43名。
- ・「会報浦和支部」第18号発行（7月1日）。B5判4ページ（B4判二つ折）。

- ・新入会員との交歓会（9月18日）。
- ・対外広報活動（10月1日から7日）。国鉄5駅にポスター掲示14カ所に増加。
- ・定期健康診断（10月12日）〔受診者〕27名。
- ・一泊研修旅行（11月8日9日）〔参加者〕34名〔行先〕越後路。

昭和62年（1987）

- ・新年会（1月22日）〔会場〕ときわ会館〔出席者〕24名〔来賓〕大久保浦和市役所市民部長、青山市民課長補佐、赤沼浦和警察署交通課長、柳榮一本会会長、岸正雄大宮支部長、菊池正川口支部長、今村智親朝霞支部長。
- ・「会報浦和支部」第19号発行（4月1日）。
- ・定期健康診断（4月10日11日）〔会場〕浦和医師会成人病検診センター。
- ・定時総会（5月16日）〔場所〕浦和市民会館〔議長〕尾山繁雄会員〔会員数〕115名（うち委任状28名）〔議案〕昭和61年度事業報告、同決算報告、昭和62年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞支部長高橋行夫（再選）、副支部長柴田良治、矢鋪昭二、岡田剛、総務部長田口邦雄、経理部長佐野盛紀、企画部長岡芹武夫、渉外監察部長尾山繁雄、広報部長高橋和夫、厚生部長鈴木陸夫、常任相談役赤坂博道、相談役関口隆、小栗重昭、三野輪寿美男、石川光雄、栗原行雄、顧問本郷栄太郎、監事金子義三、古島一。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕中川健吉浦和市長、大久保浦和市役所市民部長、大久保市民課長、金井浦和警察署防犯課長、柳榮一本会会長、菊池正川口支部長、今村智親朝霞支部長。

- ・政連定期大会（5月16日）。
- ・車庫証明業務好調、前年同期比25%増、従事者7名。
- ・群馬県高崎支部役員が車庫証明センターを視察。
- ・浦和市役所において市民相談〔担当相談員〕44名。
- ・日帰り研修旅行（6月6日）〔参加者〕29名〔行先〕秋川溪谷。
- ・「会報浦和支部」第20号発行（7月20日）。
- ・新会員交歓会（9月25日）。
- ・一泊研修旅行（10月25日26日）〔参加者〕34名〔行先〕伊豆・天城の湯。

昭和63年（1988）

- ・新年会（1月17日）〔会場〕正直屋〔出席者〕31名〔来賓〕中川健吉浦和市長、大久保浦和市役所市民部長、大久保市民サービス課長、赤沼浦和警察署交通課長、柳榮一本会会長、岸正雄大宮支部長、菊池正川口支部長。
- ・「会報浦和支部」第21号発行（3月15日）。
- ・定期健康診断（3月30日）〔受診者〕26名。過去9年間に237名受診。
- ・定時総会（5月14日）〔場所〕浦和市民会館〔議長〕尾山繁雄会員〔会員数〕115名〔出席者〕72名（うち委任状37名）〔議案〕昭和62年度事業報告、同決算報告、昭和63年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕蓮見浦和警察署長、中村浦和西警察署長、土橋浦和市役所市民部長、大久保市民サービス課長、岸正雄大宮支部長、菊池正川口支部長、今村智親朝霞支部長。

- ・政連定期大会（5月14日）。
- ・浦和市役所において市民相談〔担当相談員〕38名。



- ・ **日帰り研修旅行** (6月5日) [参加者] 26名 [行先] 比企、入間路。
- ・ **車庫証明業務で協議会開催** (8月20日) 12名が新規参加希望。
- ・ **初の女性会員懇親会開催** (9月17日)。
- ・ 「会報浦和支部」第22号発行 (10月1日)。
- ・ PRポスター15カ所に掲示 (10月1日から7日)。
- ・ **一泊研修旅行** (10月15日16日) [参加者] 33名 [行先] 奥磐梯。

平成元年 (1989)

- ・ **この年の新年会は懇親会に切り替えて開催** (昭和天皇崩御) (1月7日) [会場] 仙岳 [出席者] 31名 [来賓] 中川健吉浦和市長、土橋浦和市役所市民部長、大久保市民サービス課長、神津数身大宮副支部長、菊池正川口支部長。
- ・ 「会報浦和支部」第23号発行 (3月15日)。
- ・ **定時総会** (5月13日) [場所] 浦和市民会館 [議長] 中島智会員 [会員数] 118名 [出席者] 74名 (うち委任状39名) [議案] 昭和63年度事業報告、同決算報告、平成元年度事業計画案、同予算案、支部規約改正、役員の選任、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜**支部役員**＞支部長高橋行夫 (再々選)、副支部長柴田良治、矢舖昭二、岡田剛、総務部長田口邦雄、経理部長佐野盛紀、企画部長岡芹武夫、渉外監察部長尾山繁雄、広報部長高橋和夫、厚生部長鈴木陸夫、常任相談役赤坂博道、相談役関口隆、小栗重昭、三野輪寿美男、石川光雄、栗原行雄、顧問本郷栄太郎、監事金子義三、古島一。

＜**支部規約改正**＞支部会費年8,000円を10,000円に改正。慶弔規程による70才以上の会員への誕生日祝い品贈呈の廃止。

- ・ 政連定期大会 (5月13日)。

＜**本会役員**＞赤坂博道会員、本会第7代会長に就任。

- ・ 浦和市役所において市民相談 [担当相談員] 43名。
- ・ **日帰り研修旅行** (6月11日) [参加者] 37名 [行先] 益子。
- ・ 浦和・与野地区車庫証明業務会総会開催 (6月17日) [所属会員数] 20名、会長柴田良治、副会長矢舖昭二。
- ・ 「会報浦和支部」第24号発行 (8月31日)。
- ・ **一泊研修旅行** (11月3日4日) [参加者] 40名 [行先] 天津小湊。
- ・ テーマを設けない対話研修会開催 (11月30日)。参加者各自が業務上の問題点を発表し、討論。

平成2年 (1990)

- ・ **新年会** (1月6日) [会場] 仙岳 [出席者] 31名 [来賓] 中川健吉浦和市長、赤坂博道本会会長、岸正雄本会副会長他。
- ・ **定期健康診断** (2月13日) [受診者] 21名。
- ・ 「会報浦和支部」第25号発行 (3月15日)。
- ・ **定時総会** (5月12日) [場所] 浦和市民会館 [議長] 中河栄三会員 [出席者] 61名 (うち委任状35名) [議案] 平成元年度事業報告、同決算報告、平成2年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜**定時総会懇親会**＞ [来賓] 中川健吉浦和市長他。

- ・ 政連定期大会 (5月12日)。
- ・ 浦和市役所において市民相談、本年11月から与野市役所においても市民相談実施。
- ・ **日帰り研修旅行** (6月3日) [参加者] 36名 [行先] 足尾町。
- ・ 浦和・与野地区車庫証明業務会総会開催 (6月10日)。受託件数22%の伸び、従事

者20名。

- ・「会報浦和支部」第26号発行（8月20日）。
- ・新会員交歓会（9月20日）。
- ・支部健康診断本会へ合流。
- ・ポスター掲示によるPR作戦（10月1日より1週間）。
- ・一泊研修旅行（10月13日14日）[参加者] 28名 [行先] 信州木曽路。
- ・業務研修会（11月20日）。

平成3年（1991）

- ・新年会（1月11日）[会場] 山楽 [来賓] 中川健吉浦和市長他。
- ・「会報浦和支部」第27号発行（3月31日）。
- ・定時総会（5月18日）[場所] 志乃家 [議長] 関健一会員 [会員数] 128名 [出席者数] 85名（うち委任状45名） [議案] 平成2年度事業報告、同決算報告、平成3年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞第6代支部長矢鋪昭二、副支部長柴田良治、田口邦雄、佐野盛紀、総務部長尾山繁雄、経理部長安田章、企画

部長岡芹武夫、渉外監察部長中河栄三、広報部長逸見典之、厚生部長古山登、常任相談役高橋行夫、相談役関口隆、小栗重昭、三野輪寿美男、石川光雄、栗原行雄、赤坂博道、岡田剛、顧問本郷栄太郎、監事金子義三、野島信広。

＜支部規則改正＞年度途中の入会者は年会費の半額を納入。

- ・政連定期大会（5月18日）。

＜本会役員＞会長赤坂博道、副会長高橋行夫、広報部長田口邦雄、車庫証明特別委員長尾山繁雄、監事中島智。

- ・赤坂博道相談役、日行連副会長に就任。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・日帰り研修旅行（6月2日）[参加者] 38名 [行先] 奥多摩。
- ・新会員、婦人会員交歓会（9月7日）。
- ・一泊研修旅行（11月4日5日）[参加者] 37名 [行先] 奥久慈、袋田の滝。





- ・「会報浦和支部」第28号発行(11月15日)。

平成4年(1992)

- ・**新年会**(1月10日)[会場] ふか川 [来賓] 相川宗一浦和市長、井原勇与野市長他。
- ・「会報浦和支部」第29号発行(3月31日)。
- ・**定時総会**(5月16日)[場所] ときわ会館 [議長] 中村伸一会員 [会員数] 130名 [出席者] 85名(うち委任状45名) [議案] 平成3年度事業報告、同決算報告、平成4年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ・政連定期大会(5月16日)。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・**日帰り研修旅行**(6月7日)[参加者] 29名 [行先] 筑波山。



- ・成人病検診、本会に合流して実施。
- ・新会員交歓会(9月11日)[場所] 浦和市民会館。
- ・「会報浦和支部」第30号発行(9月30日)。
- ・**一泊研修旅行**(10月24日25日)[参加者] 31名 [行先] 万座温泉。
- ・**業務研修会**(11月20日)[テーマ]「風俗営業」[講師] 橋本県警本部防犯課警部補。



5. 平成5年(1993)から 平成14年(2002)まで

平成5年(1993)

- ・**新年会**(1月8日)[会場] 浦和市民会館 [来賓] 相川宗一浦和市長、井原勇与野市長、角田浦和警察署次長、下島浦和西警察署次長、赤坂博道本会会長、菊池正川口支部長、戸高大宮支部長代行。

- ・「会報浦和支部」第31号発行(3月31日)。
- ・**定時総会**(5月22日)[場所] 浦和市民会館 [議長] 中村紳一会員 [会員数] 132名 [出席者] 94名(うち委任状69名) [議案] 平成4年度事業報告、同決算報告、平成5年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞支部長矢鋪昭二(再選)、副支部長柴田良治、田口邦雄、尾山繁雄、総

務部長鈴木陸夫、経理部長安田章、企画部長近藤定雄、渉外監察部長中河栄三、広報部長中村伸一、厚生部長荒巻一夫、常任相談役高橋行夫、相談役関口隆、小栗重昭、三野輪寿美男、石川光雄、栗原行雄、赤坂博道、岡田剛、佐野盛紀、顧問本郷栄太郎、監事金子義三、関博宣。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕相川宗一浦和市長他。

- ・政連定期大会（5月22日）。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。

- ・日帰り研修旅行（6月6日）〔参加者〕32名〔行先〕鬼怒川。
- ・「会報浦和支部」第32号発行（8月31日）。
- ・成人病検診、本会に合流して実施（10月4日から20日）。
- ・一泊研修旅行（10月23日24日）〔参加者〕33名〔行先〕別所温泉。
- ・業務研修会（11月19日）〔テーマ〕「公正証書と遺言をめぐる諸問題」〔講師〕川上富次公証人。





平成6年(1994)

- ・ **新年会** (1月11日) [会場] 浦和市民会館 [来賓] 相川宗一浦和市長、井原勇与野市長、奥富浦和警察署長、山田浦和西警察署次長、赤坂博道本会会長他。
 - ・ 「会報浦和支部」第33号発行 (3月31日)。
 - ・ **定時総会** (5月14日) [場所] 浦和市民会館 [議長] 宮下進会員 [会員数] 137名 [出席者] 95名 (うち委任状65名) [議案] 平成5年度事業報告、同決算報告、平成6年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ＜定時総会懇親会＞ [来賓] 相川宗一浦和市長他。
- ・ 浦和市役所、与野市役所において市民相談。
 - ・ 政連定期大会 (5月14日)。
 - ・ **日帰り研修旅行** (6月12日) [参加者] 36名 [行先] 埼玉北路。
 - ・ 新会員交歓会 (9月10日) [会場] 浦和市民会館。



- ・ 成人病検診、本会に合流して実施 (10月11日から24日)。
- ・ **一泊研修旅行** (10月22日23日) [参加者] 38名 [行先] 白河路。
- ・ 「会報浦和支部」第34号発行 (10月31日)。
- ・ **業務研修会** (11月19日) [テーマ] 「法務局所掌業務とその内容」 [講師] 川上富次公証人。
- ・ 健康増進のためのリクリエーション実施 (11月26日) [行先] 見沼ヘルシーランド。
- ・ 行政書士掲示板の設置要請。



平成7年(1995)

- ・ **新年会** (1月10日) [会場] 浦和市民会館 [来賓] 相川宗一浦和市長、小林浦和市役所市民サービス部長、黒岩浦和警察署交通課長、小林浦和西警察署交通課長、森川征男川口支部長、染谷憲之大宮支部

長。

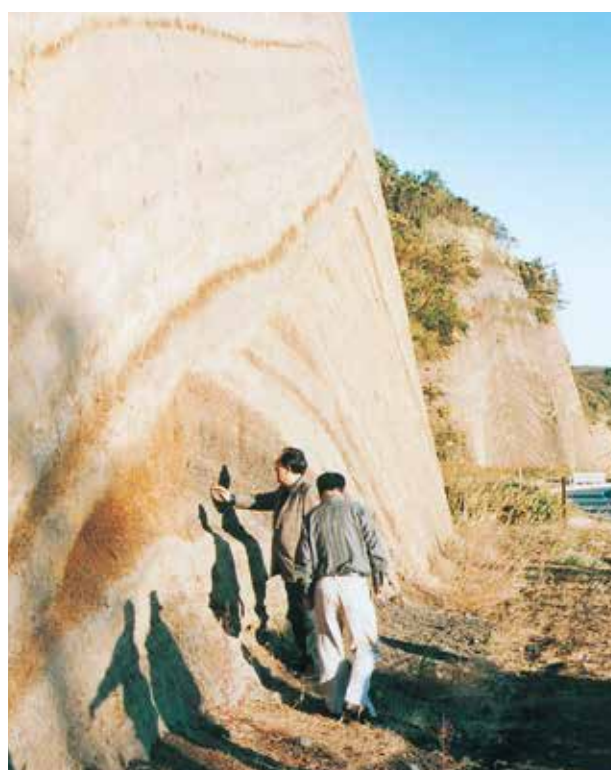
- ・ 阪神大震災義援金拠出 (2月14日)。
- ・ 「会報浦和支部」第35号発行 (3月20日)。
- ・ **定時総会** (5月13日) [場所] 埼玉県労働会館 [議長] 岡芹武夫会員 [会員数] 138名 [出席者] 86名 (うち委任状62名) [議

案]平成6年度事業報告、同決算報告、平成7年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞第7代支部長田口邦雄、副支部長柴田良治、尾山繁雄、安田章、総務部長近藤定雄、経理部長竹田薫、企画部長小栗重美、渉外監察部長中河栄三、広報部長中村伸一、厚生部長荒巻一夫、常任相談役矢鋪昭二、高橋行夫、相談役小栗重昭、三野輪寿美男、顧問赤坂博道、監事石川光雄、鈴木陸夫。

- ・政連定期大会（5月13日）。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・日帰り研修旅行（6月4日）[参加者] 36名 [行先] 大滝温泉。
- ・「会報浦和支部」第36号発行（8月20日）。
- ・新会員交歓会（9月8日）[会場] 浦和市民会館。

- ・成人病検診、本会に合流して実施（10月16日から31日）。
- ・業務研修会（10月21日）[テーマ]「増資について」[講師] 木下幸三東京都行政書士会会員。
- ・一泊研修旅行（11月12日13日）[参加者] 34名 [行先] 伊豆大島（当初飛行機を計画したが、予約がとれず、熱海から船で向かう）。
- ・健康増進のためのリクリエーション実施（12月23日）[参加者] 15名 [行先] 見沼ヘルシーランド。





平成8年(1996)

- ・ **新年会** (1月10日) [会場] 浦和市民会館 [出席者] 29名 [来賓] 赤坂博道本会名誉会長他。
- ・ **定時総会** (5月18日) [場所] 浦和市民会館 [議長] 土橋武雄会員 [会員数] 133名 [出席者] 84名 (うち委任状57名) [議案] 平成7年度事業報告、同決算報告、平成8年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ・ **＜定時総会懇親会＞** [来賓] 赤坂博道本会名誉会長他。
- ・ 政連定期大会 (5月18日)。
- ・ 浦和市役所、与野市役所において市民相談。

- ・ 「会報浦和支部」第37号発行 (8月8日)。
- ・ 新会員交歓会 (9月12日) [会場] 浦和市民会館。
- ・ 成人病検診、本会に合流して実施 (10月14日から31日)。
- ・ **一泊研修旅行** (10月19日20日) [行先] 南会津路。
- ・ **業務研修会** (10月26日) [テーマ] 「住専問題と競売手続」 [講師] 柴田良治副支部長。
- ・ 健康増進のためのリクリエーション (12月7日) [行先] 見沼ヘルシーランド、浦和市クリーンセンター大崎。



平成9年(1997)

- ・新年会(1月9日)[会場]浦和市民会館[来賓]相川宗一浦和市長、茅根浦和西警察署長、赤坂博道本会名誉会長、森川征男川口支部長、沼野博文大宮支部長他。
- ・業務研修会(2月8日)[テーマ]「各種業務の最近の状況と業務並びに事務所経営に関する相談の交流会」[講師]近藤定雄総務部長、矢鋪昭二常任相談役、小栗重美企画部長。
- ・「会報浦和支部」第38号発行(3月17日)。
- ・定時総会(5月17日)[場所]プラザイースト[議長]岡芹武夫会員[会員数]135名[出席者]87名(うち委任状63名)[議案]平成8年度事業報告、同決算報告、平成9年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜支部役員＞支部長田口邦雄(再選)、副支部長柴田良治、尾山繁雄、安田章、総務部長近藤定雄、経理部長竹田薫、企画部長小栗重美、渉外監察部長中河栄三、広報部長赤坂昌雄、厚生部長荒巻一夫、常任相談役矢鋪昭二、高橋行夫、相談役小栗重昭、顧問赤坂博道。

- ・政連定期大会(5月17日)。

- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・日帰り研修旅行(6月8日)[行先]横浜。
- ・「会報浦和支部」第39号発行(7月20日)。A4判4ページ(A3判二つ折)。
- ・一泊研修旅行(9月6日7日)[行先]越後湯沢。
- ・新会員交歓会(9月12日)[会場]浦和市民会館。新入会員7名参加。
- ・健康増進のためのリクリエーション(10月6日)[行先]隅田川(屋形船川下り)。
- ・業務研修会(10月9日)[テーマ]「倒産を巡る処理と行政書士業務」[講師]木下幸三東京都行政書士会会員。
- ・成人病検診、本会に合流して実施(10月14日から31日)。





平成10年(1998)

- ・**新年会**(1月9日)[会場]浦和市民会館[来賓]相川宗一浦和市長、須田生活文化部長、佐伯自治文化課長、多田浦和西警察署長、森田浦和警察署次長、江原貞治本会会長、沼野博文大宮支部長、森川征男川口支部長他。
- ・「会報浦和支部」第40号発行(2月1日)。
- ・**定時総会**(5月16日)[場所]浦和市民会館[議長]小川清美会員[会員数]141名[出席者]92名(うち委任状66名)[議案]平成9年度事業報告、同決算報告、平成10年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ＜**定時総会懇親会**＞[来賓]相川宗一浦和市長他。
- ・政連定期大会(5月16日)。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・「研修会に関するアンケート」調査実施。
- ・**業務研修会**(7月23日)[テーマ]「旅行業登録申請とその周辺知識」[講師]塩田英治東京都行政書士会会員。
- ・**日帰り研修旅行**(8月1日)[参加者]36名[行先]江戸東京博物館、屋形船川下り。
- ・「会報浦和支部」第41号発行(9月1日)。
- ・**業務研修会**(10月31日)[テーマ]「事例報告・相続問題・行政書士業務としてどこまでできるか」[講師]関健一会員。
- ・**一泊研修旅行**(10月17日18日)[参加者]22名[行先]「海ほたる」、勝浦、南房総しらさぎ荘。
- ・成人病検診、本会に合流して実施(10月14日から31日)。

平成11年(1999)

- ・**新年会**(1月7日)[会場]浦和市民会館[出席者]45名[来賓]相川宗一浦和市長、

加崎勇本会副会長他。

- ・**業務研修会**(1月28日)[テーマ]「インターネット体験講座」[講師]有限会社コムネット松本典久代表取締役。
- ・「会報浦和支部」第42号発行(3月5日)。
- ・健康増進のためのリクリエーション実施(3月27日)[参加者]14名[行先]彩湖一周ハイキング。
- ・**定時総会**(5月15日)[場所]浦和市民会館[議長]高畑章会員[議案]平成10年度事業報告、同決算報告、平成11年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ＜**役員**＞第8代支部長尾山繁雄、副支部長安田章、岡芹武夫、中島智、総務部長近藤定雄、経理部長竹田薫、企画部長小栗重美、渉外監察部長小川清美、広報部長赤坂昌雄、厚生部長荒巻一夫、常任相談役田口邦雄、相談役高橋行夫、矢鋪昭二、柴田良治、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事石川光雄、鈴木陸夫。
- ＜**定時総会懇親会**＞[来賓]相川宗一浦和市長、井原勇与野市長、高玉功稔川口支部長他。
- ・政連定期大会(5月15日)。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・**日帰り研修旅行**(6月6日)[参加者]28名[行先]小江戸・川越。
- ・**業務研修会**(7月21日)[テーマ]「行政書士の法務領域に対する業務とその問題点」[講師]鈴木俊行東京都行政書士会杉並支部長。
- ・「会報浦和支部」第43号発行(7月21日)。
- ・新会員交歓会(9月17日)[会場]浦和市民会館。新入会員12名参加。
- ・成人病検診、本会に合流して実施(9月から10月)。

- ・一泊研修旅行（10月9日10日）[参加者] 21名 [行先] 日光、片品村。
- ・業務研修会（10月15日）[テーマ]「行政書士として生き残れる道はあるのか」[講師] 坂田輝房川口支部会員。
- ・健康増進のためのリクリエーション（11月6日）[参加者] 16名 [行先] 大宮公園ハイキング、ゆの郷。



平成12年（2000）

- ・新年会（1月7日）[会場] 浦和市民会館 [来賓] 相川宗一浦和市長、斎藤市民部長、島津浦和西警察署長、高玉功稔本会副会長、沼野博文大宮支部長他。
- ・業務研修会（2月25日）[テーマ]「相続事例の検討」[講師] 黒田廣史大宮支部会員、関健一会員。

- ・「会報浦和支部」第44号発行（3月15日）。
- ・健康増進のためのリクリエーション実施（3月18日）[行先] 県営サッカー場。
- ・定時総会（5月13日）[場所] 浦和市民会館 [議長] 赤坂昌雄会員 [会員数] 140名 [出席者] 92名（うち委任状59名）[議案] 平成11年度事業報告、同決算報告、平成12年度事業計画案、同予算案、本会総会



代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 相川宗一浦和市長、立石浦和市役所市民部長、横山与野市役所市民環境部次長、金子浦和西警察署長、内藤浦和警察署交通次長、高玉功穂本会副会長他。

- ・政連定期大会（5月13日）。
- ・浦和市役所、与野市役所において市民相談。
- ・日帰り研修旅行（7月15日）[参加者] 30名 [行先] NHKスタジオパーク、明治神宮。
- ・業務研修会（8月17日）[テーマ]「身近な法律のはなし」[講師] 石井允会員。
- ・「会報浦和支部」第45号発行（9月15日）。
- ・新会員交歓会（9月19日）。新入会員8名参加。
- ・一泊研修旅行（10月28日29日）[参加者] 20名 [行先] 伊豆修善寺。
- ・業務研修会（11月15日）[テーマ]「行政書士の権利義務とインターネット媒体活用法の初歩の初歩」[講師] 吉田安之東京都行政書士会小金井副支部長。

平成13年（2001）

- ・新年会（1月10日）[会場] 浦和市民会館 [来賓] 相川宗一浦和市長、江原貞治本会会長、高玉功穂川口支部長、沼野博文大宮支部長他。
- ・「会報浦和支部」第46号発行（1月15日）。
- ・定時総会（5月12日）[場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 嶋根賢一会員 [会員数] 141名 [出席者] 83名（うち委任状50名）[議案] 平成12年度事業報告、同決算報告、平成13年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜役員＞第9代支部長安田章、副支部長中

島智、近藤定雄、竹田薫、総務部長赤坂昌雄、経理部長吉野敏和、企画部長小栗重美、渉外監察部長小川清美、広報部長中村伸一、厚生部長大久保治光、常任相談役尾山繁雄、相談役高橋行夫、矢鋪昭二、田口邦雄、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事高畑章、吉岡義雄。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 相川宗一浦和市長、江原貞治本会会長、高玉功穂川口支部長他。

- ・政連定期大会（5月12日）。
- ・市民相談、さいたま市浦和総合行政センター及びさいたま市与野総合行政センターにおいて実施。
- ・日帰り研修旅行（6月30日）[行先] 秩父雁坂峠、西沢溪谷、ワイン工場見学。
- ・業務研修会（7月27日）[テーマ]「行政書士協同組合・法人化論議へ一石として」[講師] 近藤定雄副支部長。
- ・「会報浦和支部」第47号発行（9月17日）。
- ・埼玉県行政書士会主催行政書士制度強調月間無料相談会への参加（9月30日）。
- ・生活習慣病健康診断実施（10月9日から10月31日）[受診者] 17名。
- ・一泊研修旅行（10月20日21日）[参加者] 17名 [行先] みちのく二本松、岳温泉。
- ・業務研修会（11月14日）[テーマ]「行政電子化の現状と行政書士支援ビジネスの最前線」[講師] 株式会社クリックス栗山代表取締役社長。

平成14年（2002）

- ・新年会（1月10日）[会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 武正公一衆議院議員、江原貞治本会会長、高玉功穂川口支部長、沼野博文大宮支部長他。
- ・業務研修会（2月20日）[テーマ]「東京都の建設業許可」[講師] 岩戸康太郎東京都行政書士会会員。

- ・健康増進のためのリクリエーションの実施（3月30日）〔参加者〕18名〔行先〕岩槻郷土めぐり、健康ランドゆの郷。
- ・「会報浦和支部」第48号発行（3月31日）。
- ・**定時総会**（5月18日）〔場所〕さいたま市民会館うらわ〔議長〕大久保治光会員〔会員数〕140名〔出席者〕84名（うち委任状50名）〔議案〕平成13年度事業報告、同決算報告、平成14年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ・＜**定時総会懇親会
- ・政連定期大会（5月18日）。
- ・市民相談、さいたま市浦和総合行政センター及びさいたま市与野総合行政センターにおいて実施。**

- ・**日帰り研修旅行**（7月6日）〔参加者〕27名〔行先〕白糸の滝、富士山5合目。
- ・**業務研修会**（7月24日）〔テーマ〕「国際規格ISO9001について」〔講師〕河崎義一千葉県行政書士会相談役。
- ・新会員交歓会〔会場〕浦和市民会館。新入会員9名参加。
- ・生活習慣病予防健診（10月15日から31日）。
- ・**一泊研修旅行**（10月19日20日）〔参加者〕19名〔行先〕奥会津、裏磐梯。
- ・行政書士試験に参加協力（10月27日）。
- ・「会報浦和支部」第49号発行（11月20日）。





6. 平成15年(2003)から 平成26年(2014)まで

平成15年(2003)

- ・ **新年会** (1月9日) [会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 江原貞治本会会長他。
- ・ **業務研修会** (3月19日) [テーマ] 「国際標準規格ISO14001について」 [講師] 株式会社日本環境認証機構今田副部長、園田主席。
- ・ 「会報浦和支部」第50号記念特集発行 (3月31日)。
- ・ **定時総会** (5月17日) [場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 関根正会員 [会員数] 155名 [出席者] 102名 (うち委任状63名) [議案] 平成14年度事業報告、同決算報告、平成15年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ＜**役員**＞ 支部長安田章 (再選)、副支部長近藤定雄、中島智、関健一、総務部長赤坂昌雄、経理部長吉野敏和、企画部長小栗重美、渉外監察部長小川清美、広報部長中村伸一、厚生部長大久保治光、常任相談役尾山繁雄、相談役高橋行夫、矢鋪昭二、田口邦雄、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事竹田薫、高畑章。
- ＜**定時総会懇親会**＞ [来賓] 岡本芳雄川口支部長他。
- ・ 政連定期大会 (5月17日)。
- ・ 執行部役員・顧問相談役との懇話会開催 (8月22日)。
- ・ 行政書士制度強調月間に伴うポスター掲示協力依頼 (支部管内関係官公署) (9月26日)。
- ・ 市民相談、本年度から政令指定都市として新たな体制で実施。 [相談場所] 南区

役所 [担当相談員] 24名。

- ・ **日帰り研修旅行** (6月21日) [参加者] 33名 [行先] 水郷潮来から香取神宮へ。
- ・ 新会員交歓会 (9月26日) [会場] 浦和市民会館。新入会員16名参加 (過去最高)。
- ・ 行政書士制度強調月間無料相談会 (本会主催) に参加協力 (10月19日)。
- ・ **業務研修会** (10月2日) (1) [テーマ] 「代理の基本理論について」 [講師] 物部重雄鴻巣支部会員 (本会行政書士制度研究会) (2) [テーマ] 「代理権にかかる行政書士報改正の趣旨及び実務での具体的な活用法について」 [講師] 近藤定雄副支部長。
- ・ 「会報浦和支部」第51号発行 (10月7日)。
- ・ 生活習慣病予防健診 (10月15日から31日)。
- ・ **一泊研修旅行** (11月15日16日) [参加者] 28名 [行先] 米沢・会津路 [特別研修会] 「仕事に学ぶ」 [講師] 尾山繁雄相談役。
- ・ **業務研修会** (12月3日) [テーマ] 「クーリングオフ対応の内容証明書の書き方」 [講師] 伊藤誠会員。
- ・ 行政書士試験に参加協力 (10月26日)。

平成16年(2004)

- ・ **新年会** (1月8日) [会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 長島敬一本会会長、岡本芳雄川口支部長、沼野博文大宮支部長他。
- ・ 赤坂博道顧問 黄綬褒章受賞祝賀会開催 (2月15日)。
- ・ 健康増進のためのリクリエーションの実施 (3月6日) [行先] 越生梅林散策。
- ・ 「会報浦和支部」第52号発行 (3月24日)。
- ・ **業務研修会** (3月24日) [テーマ] 「風俗営業」。
- ・ **定時総会** (5月15日) [場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 伊藤誠会員 [会員



数] 177名 [出席者] 108名 (うち委任状 65名) [議案] 平成15年度事業報告、同決算報告、平成16年度事業計画案、同予算案、理事欠員補充、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜定時総会懇親会＞ [来賓] 長島敬一本会会長、岡本芳雄川口支部長他。

・政連定期大会 (5月15日)。

- ・さいたま市南区役所において市民相談実施。[担当相談員] 24名。
- ・日帰り研修旅行 (6月19日) [参加者] 20名 [行先] 秩父 (歴史探訪・秩父事件と龍勢祭り)。
- ・業務研修会 (7月28日) (1) [テーマ] 「入管業務とその留意点」 [講師] 吉森みどり会員 (2) [テーマ] 「今後の入管業務と



行政書士の役割」[アドバイザー] 近藤定雄副支部長。

- ・新会員交歓会（9月8日）。新入会員7名参加。
- ・行政書士制度強調月間に伴うポスター掲示協力依頼（支部管内関係官公署）（9月16日）。
- ・行政書士制度強調月間無料相談会（本会主催）に参加協力（10月2日）。
- ・「会報浦和支部」第53号発行（10月7日）。
- ・業務研修会（10月27日）[テーマ]「行政書士事務所の法人化について」[講師] 近藤定雄副支部長。なお、研修会に先立ち、入札参加資格申請の電子化に伴う電子申請サポート事業について埼玉リコーの担当者が説明。
- ・新規表示板の設置依頼。
- ・一泊研修旅行（10月9日10日）[参加者] 19名 [行先] 鶴の浜温泉。
- ・生活習慣病予防健診（10月12日から29日）。
- ・行政書士試験に参加協力（11月24日）。

平成17年（2005）

- ・新年会（1月7日）[会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 長島敬一本会会長、岡本芳雄川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長代理。
- ・健康増進のためのリクリエーションの実



施（3月5日）[行先] 皇居東御苑・江戸城。

- ・業務研修会（3月17日）[テーマ]「基礎からの産業廃棄物収集運搬業」。
- ・「会報浦和支部」第54号発行（3月19日）。
- ・定時総会（5月14日）[場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 山下克彦会員 [会員数] 168名 [出席者] 88名（うち委任状51名）[議案] 平成16年度事業報告、同決算報告、平成17年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜役員＞第10代支部長近藤定雄、副支部長関健一、中島智、赤坂昌雄、総務部長小栗重美、経理部長吉野敏和、企画部長吉森みどり、渉外監察部長大久保治光、広報部長山崎智博、厚生部長利根澤誠、常任相談役安田章、尾山繁雄、相談役矢鋪昭二、田口邦雄、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事高畑章、小川清美。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 長島敬一本会会長、岡本芳雄川口支部長他。

- ・政連定期大会（5月14日）。
- ・市民相談、本年度からさいたま市南区役所に加えて、中央区役所、緑区役所でも実施。
- ・日帰り研修旅行（6月25日）[参加者] 29名 [行先] 袋田の滝、別春館。
- ・「会報浦和支部」第55号発行（7月31日）。



- ・業務研修会（7月29日）[テーマ]「入国管理の業務について」[講師] 久保一郎 会員（元入国管理局入国警備官）。
- ・新会員交歓会（9月21日）。新入会員3名参加。
- ・一泊研修旅行（10月15日16日）[参加者] 20名 [行先] 五浦温泉。
- ・業務研修会（10月28日）[テーマ]「新会社法について」[講師] 関健一副支部長。
- ・「会報浦和支部」号外発行（11月30日）。



平成18年（2006）

- ・新年会（1月6日）[会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 長島敬一本会会長、岡本芳雄川口支部長、露木済二大宮支部長。
- ・健康増進のためのリクリエーションの実施（3月4日）[行先] 小石川植物園。
- ・業務研修会（3月9日）[テーマ]「新会社法・実務編」[講師] 関健一副支部長。
- ・「会報浦和支部」第56号発行（3月31日）。
- ・定時総会（5月13日）[場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 藤田義晴会員 [会員数] 176名 [出席者] 119名（うち委任状82名）[議案] 平成17年度事業報告、同決算報告、平成18年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ＜定時総会懇親会＞ [来賓] 長島敬一本会会長、近藤豊川口副支部長、露木済二大宮支部長。
- ・政連定期大会（5月13日）。
- ・浦和支部ホームページプロジェクト発足。
- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（行政書士の法務書類、許認可）実施。

- ・日帰り研修旅行（6月24日）[参加者] 23名 [行先] 信濃路・小諸ワイナリー、別所温泉、海野宿。
- ・業務研修会（7月28日）[テーマ]「新会社法による株式会社の作り方」[講師] 近藤定雄支部長。
- ・「会報浦和支部」第57号発行（7月31日）。
- ・新会員交歓会（9月22日）。新入会員5名参加。
- ・業務研修会（10月9日）[テーマ]「財務諸表と経営状況分析申請の注意点」[講師] 山崎智博広報部長。
- ・行政書士制度強調月間無料相談会（本会主催）に参加協力（10月9日）。
- ・一泊研修旅行（10月14日15日）[参加者] 20名 [行先] 蓼科、サントリー白洲蒸留所、諏訪大社。





- ・行政書士試験に参加協力（11月12日）。
- ・浦和支部の看板設置〔場所〕中央区大戸



1-2-19。

- ・「会報浦和支部」号外発行（12月26日）。



平成19年（2007）

- ・新年会（1月12日）〔会場〕さいたま市民会館うらわ〔出席者〕49名〔来賓〕染谷憲之本会副会長、岡本芳雄川口支部長、露木済二大宮支部長。
- ・業務研修会（1月25日）〔テーマ〕「成年後見制度について」〔講師〕関實会員。
- ・「会報浦和支部」第58号発行（3月31日）。
- ・定時総会（5月19日）〔場所〕別所沼会館〔議長〕山口哲生会員〔会員数〕175名〔出席者〕113名（うち委任状71名）〔議案〕平成18年度事業報告、同決算報告、平成19年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審

議、承認可決。

＜役員＞支部長近藤定雄（再選）、副支部長関健一、中島智、赤坂昌雄、総務部長小栗重美、経理部長吉野敏和、企画部長吉森みどり、渉外監察部長大久保治光、広報部長山崎智博、厚生部長早坂舜、常任相談役安田章、尾山繁雄、相談役矢鋪昭二、田口邦雄、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事高畑章、小川清美。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕高玉功稔本会会長代行、岡本芳雄川口支部長、黒田廣史大宮副支部長。

- ・政連定期大会（5月19日）。

＜本会役員＞副会長近藤定雄、理事・広報



部長赤坂昌雄、理事山崎智博、同理事藤田義晴、顧問赤坂博道、相談役小栗重昭、矢鋪昭二、監事中島智。

- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（行政書士の法務書類、許認可）実施。
- ・日帰り研修旅行（6月30日）[参加者] 27名 [行先] 三浦半島、記念艦三笠、三崎港、城ヶ島・くりはま花の国。
- ・業務研修会（7月26日）[テーマ]「在留特別許可の態様とその傾向について」[講師] 久保一郎会員（元入国管理局入

局警備官）。

- ・「会報浦和支部」第59号発行（7月31日）。
- ・新会員交歓会。新入会員6名参加。
- ・一泊研修旅行（9月29日30日）[参加者] 22名 [行先] 信州戸倉上山田温泉、善光寺、小布施。
- ・行政書士広報月間街頭無料相談会に参加協力（10月14日）。
- ・業務研修会（10月18日）[テーマ]「協同組合設立と運営及び外国人研修生の受け入れ」[講師] 吉森みどり企画部長。
- ・「会報浦和支部」号外発行（12月25日）。



平成20年（2008）

- ・新年会（1月11日）[会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 染谷憲之本会副会長、近藤豊川口副支部長、露木済二大宮支部長。
- ・業務研修会（1月15日）[テーマ]「相続における戸籍の見方と注意点について」[講師] 小倉隆会員。
- ・健康増進のためのリクリエーションの実施（3月1日）[行先] 鉄道博物館。
- ・浦和支部ホームページ開設（3月末）。
- ・「会報浦和支部」第60号発行（3月31日）。

- ・定時総会（5月10日）[場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 矢野直樹会員 [会員数] 182名 [出席者] 116名（委任状を含む）[議案] 平成19年度事業報告、同決算報告、平成20年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

<定時総会懇親会> [来賓] 渋谷敏男本会政連副会長。

- ・政連定期大会（5月10日）。
- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・



内容証明) 実施。

- ・日帰り研修旅行 (6月28日) [参加者] 25名 [行先] お台場、六本木ヒルズ。
- ・業務研修会 (7月17日) [テーマ]「聴聞又は弁明の機会の付与手続きでの代理人に関するQ & A」[講師] 近藤定雄支部長。
- ・「会報浦和支部」第61号発行 (8月1日)。
- ・一泊研修旅行 (9月20日21日) [参加者] 22名 [行先] 伊豆稲取温泉。
- ・新会員交歓会 (9月26日)。新入会員15名参加。
- ・行政書士広報月間街頭無料相談会に参加協力 (10月11日)。
- ・業務研修会 (10月23日) [テーマ]「建設業の経営規模等評価申請における財務

諸表の作り方」[講師] 財団法人建設業情報管理センター安井康夫次長他。

- ・生活習慣病予防健診 (11月4日から12月26日)。
- ・行政書士試験に参加協力 (11月9日)。
- ・「会報浦和支部」号外発行 (12月25日)。



平成21年 (2009)

- ・新年会 (1月9日) [会場] さいたま市民会館うらわ [出席者] 48名 [来賓] 高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、露木済二大宮支部長。
- ・業務研修会 (1月23日) [テーマ]「法定相続と遺言について」[講師] 小倉隆企画部副部長。

- ・「会報浦和支部」第62号発行 (3月25日)。
- ・業務研修会 (3月26日) [テーマ]「行政書士としての事務所経営について」[講師] 近藤定雄支部長。
- ・定時総会 (5月9日) [場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 利根澤誠会員 [会員数] 197名 [出席者] 123名 (うち委任状75名) [議案] 平成20年度事業報告、同

決算報告、平成21年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、役員選出、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。

＜役員＞第11代支部長赤坂昌雄、副支部長小栗重美、吉野敏和、中島智、総務部長嶋根賢一、経理部長山崎智博、企画部長吉森みどり、渉外監察部長大久保治光、広報部長早坂舜、厚生部長福永正子、常任相談役近藤定雄、安田章、相談役矢鋪昭二、田口邦雄、尾山繁雄、関健一、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事高畑章、小川清美。

＜定時総会懇親会＞〔来賓〕高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長他。

- ・政連定期大会（5月9日）。
- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・内容証明）実施。

- ・日帰り研修旅行（7月4日）〔参加者〕35名〔行先〕筑波宇宙センター。
- ・業務研修会（7月24日）〔テーマ〕「法人の帳簿、決算書、申告書の超基本的な見方について」〔講師〕竹田栄次税理士。
- ・「会報浦和支部」第63号発行（8月1日）。
- ・市民相談員情報交換会（8月28日）。
- ・新会員交歓会（9月19日）。新入会員10名参加。
- ・一泊研修旅行（9月26日27日）〔参加者〕26名〔行先〕米沢。
- ・行政書士広報月間街頭無料相談会に参加協力（10月10日）。
- ・業務研修会（10月30日）〔テーマ〕「産業廃棄物収集運搬業許可申請における各自治体の留意点について」〔講師〕正治亨本会風俗保健環境部長。
- ・行政書士試験実施に協力（11月8日）。
- ・「会報浦和支部」第64号発行（12月1日）。





平成22年 (2010)

- ・ **新年会** (1月8日) [会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長。
- ・ **業務研修会** (1月29日) [テーマ] 「遺産分割協議関連事項について」 [講師] 小倉隆会員。
- ・ **業務研修会** (3月26日) [テーマ] 「職務上請求書の取扱いについて」 [講師] 近藤定雄本会副会長。



「会報浦和支部」第65号発行 (3月31日)。

- ・ **定時総会** (5月8日) [場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 小倉隆会員 [会員数] 209名 [出席者] 136名 (うち委任状91名) [議案] 平成21年度事業報告、同決算報告、平成22年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- <定時総会懇親会> [来賓] 甘楽正治大宮支部副支部長他。
- ・ 政連定期大会 (5月8日)。



- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・内容証明）実施。
- ・東北東日本大震災へ義援金（6月2日）。
- ・日帰り研修旅行（6月26日）[参加者] 38名 [行先] 薬師温泉かやぶきの郷。
- ・業務研修会（7月30日）[テーマ]「一般貨物運送事業許可申請の実務」[講師] 菅原広巳狭山支部長。
- ・「会報浦和支部」第66号発行（8月1日）。
- ・新会員交歓会（9月17日）。新入会員9名参加。
- ・一泊研修旅行（9月25日26日）[参加者] 27名 [行先] 上高地、飛騨高山。



- ・行政書士広報月間・浦和支部主催無料相談会（10月9日）。
- ・行政書士試験実施に協力（11月14日）。
- ・「会報浦和支部」第67号発行（12月15日）。



平成23年（2011）

- ・新年会（1月7日）[会場] さいたま市民会館うらわ [来賓] 高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長。
- ・業務研修会（2月4日）[テーマ]「遺産分割協議書の作成について」[講師] 小倉隆会員。
- ・「会報浦和支部」第68号発行（3月29日）。
- ・定時総会（5月14日）[場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 田幡悦子会員 [議案] 平成22年度事業報告、同決算報告、平成23年度事業計画案、同予算案、支部規則改正、本会総会代議員、予備代議員

の選任を審議、承認可決。

＜役員＞支部長赤坂昌雄（再選）、副支部長小栗重美、吉野敏和、大久保治光、総務部長嶋根賢一、経理部長山崎智博、企画部長吉森みどり、渉外監察部長古田洋司、広報部長早坂舜、厚生部長福永正子、常任相談役近藤定雄、安田章、相談役矢鋪昭二、田口邦雄、尾山繁雄、関健一、中島智、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事高畑章、小川清美。

＜定時総会懇親会＞[来賓] 高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長。

- ・政連定期大会（5月14日）。



＜本会役員＞副会長近藤定雄、理事・総務部長大久保治光、理事・建設農林宅建部長赤坂昌雄、理事・広報部長山崎智博、理事福永正子、顧問赤坂博道、相談役小栗重昭、矢舗昭二、監事中島智。

- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・内容証明）実施。
- ・東日本大震災に義援金拠出（6月2日）。
- ・日帰り研修旅行（7月9日）〔参加者〕38名〔行先〕築地場外市場、隅田川屋形船。
- ・業務研修会（7月29日）〔テーマ〕「医療法人の設立について」〔講師〕日笠雄一郎会員。
- ・支部慶弔規程、文書保存規程の改正。
- ・「会報浦和支部」第69号発行（8月1日）。
- ・一泊研修旅行（9月17日18日）〔参加者〕27名〔行先〕足尾銅山、日光、湯西川ダム。
- ・行政書士広報月間・浦和支部主催無料相



談会（10月8日）。

- ・新会員交歓会（10月21日）。新入会員8名参加。
- ・業務研修会（10月28日）〔テーマ〕「改正廃棄物処理法（平成23年4月1日施行）について」〔講師〕正治亨本会風俗環境保健部長。
- ・行政書士試験実施に協力（11月13日）。
- ・「会報浦和支部」第70号発行（12月1日）。

平成24年（2012）

- ・新年会（1月6日）〔会場〕さいたま市民会館うらわ〔来賓〕高玉功稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長。
- ・「会報浦和支部」第71号発行（3月31日）。
- ・業務研修会（1月26日）〔テーマ〕「特例民法法人の公益・一般法人への移行認定認可申請について」〔講師〕加藤俊孝

会員。

- ・定時総会（5月12日）〔場所〕さいたま市民会館うらわ〔議長〕日笠雄一郎会員〔会員数〕242名〔出席者〕155名（うち委任状101名）〔議案〕平成23年度事業報告、同決算報告、平成24年度事業計画案、同予算案、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ・政連定期大会（5月12日）。

- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・内容証明）実施。
- ・日帰り研修旅行（7月7日）〔参加者〕34名〔行先〕妙義山、軽井沢。
- ・行政書士広報月間・浦和支部主催行政書士無料相談会（10月13日）。

- ・業務研修会（7月27日）〔テーマ〕「入管業務の実務」〔講師〕吉松昌晃本会行政法務部長。
- ・「会報浦和支部」第72号発行（8月1日）。
- ・新会員交歓会（9月21日）。新入会員13名参加。
- ・一泊研修旅行（9月29日30日）〔参加者〕





25名 [行先] 越後大湯温泉。

- ・ **業務研修会** (10月26日) [テーマ]「中小企業診断士と行政書士の業務の連携について」[講師] 横山英樹中小企業診断士、大井洋文中小企業診断士。
- ・ 行政書士試験実施に協力 (11月11日)。
- ・ 「会報浦和支部」第73号発行 (12月1日)。



平成25年 (2013)

- ・ **新年会** (1月5日) [会場] さいたま市民会館うらわ [出席者] 43名 [来賓] 高玉功 稔本会会長、永沼逸郎川口支部長、斎藤敏夫大宮支部長。
- ・ **業務研修会** (1月31日) [テーマ]「行政書士ADRセンター埼玉の活用について」[講師] 前田新太郎会員。
- ・ 普通救命講習会 (2月13日)。
- ・ 「会報浦和支部」第74号発行 (3月31日)。
- ・ **定時総会** (5月11日) [場所] さいたま市民会館うらわ [議長] 佐久間康会員 [会員数] 244名 [出席者] 157名 (うち委任状103名) [議案] 平成24年度事業報告、同決算報告、平成25年度事業計画案、同予算案、役員選出、本会総会代議員、予

備代議員の選任を審議、承認可決。

- ・ **<役員>** 支部長赤坂昌雄 (再々選)、副支部長小栗重美、嶋根賢一、福永正子、総務部長山崎智博、経理部長藤田義晴、企画部長田幡悦子、渉外監察部長吉田富士雄、広報部長早坂舜、厚生部長山口哲生、常任相談役近藤定雄、相談役矢鋪昭二、田口邦雄、関健一、中島智、顧問赤坂博道、小栗重昭、監事吉野敏和、小川清美。
- ・ **<定時総会懇親会>** [来賓] 近藤定雄本会副会長、小川晃川口副支部長他。
- ・ 政連定期大会 (5月11日)。
- ・ さいたま市 (南区役所、中央区役所、緑区役所) において市民相談 (相続遺言・内容証明) 実施。
- ・ **日帰り研修旅行** (7月20日) [参加者] 33



名〔行先〕予科練平和記念館、大洗めんたいパーク。

- ・行政書士広報月間・浦和支部主催行政書士無料相談会（10月12日）。
- ・業務研修会（7月26日）〔テーマ〕「たった15秒で好感度が上がる声の磨き方・話し方」〔講師〕株式会社ボイスクリエーションシュクル佐藤恵代表取締役。
- ・「会報浦和支部」第75号発行（8月1日）。



- ・新会員交歓会（9月27日）。新入会員12名参加。
- ・一泊研修旅行（10月5日6日）〔参加者〕25名〔行先〕東日本大震災被災地。
- ・業務研修会（10月25日）〔テーマ〕「図解式で考える運送業」〔講師〕富岡綾子本会国際部長。
- ・行政書士試験実施に協力（11月10日）。
- ・「会報浦和支部」第76号発行（12月1日）。



平成26年（2014）

- ・新年会（1月10日）〔会場〕さいたま市民会館うらわ〔出席者〕63名〔来賓〕大久保治光本会副会長、永沼逸郎川口支部長、福田安伸大宮支部長。
- ・浦和支部創立50周年記念事業（2月22日）。
 - (1) 講演会〔会場〕さいたま市民会館うらわ大ホール〔講演〕「民法改正と私たちの暮らし」〔講師〕内田貴法務省参与〔参加者〕310名。
 - (2) 記念祝賀会〔会場〕さいたま市民会館うらわ7階703〔来賓〕内田貴法務省参与、清水勇人さいたま市長、荒岡克巳本会会長、波澄哲夫政連会長、福田安伸大宮支部長、小川晃川口副支部長他。
- ・業務研修会（3月20日）〔テーマ〕「具体的事例から学ぶ相続・遺言手続きについて」〔講師〕茂原英記会員。

- ・近隣支部との情報交換会（浦和支部主催）（3月28日）〔講演〕「埼玉会の未来を語る」荒岡克巳本会会長〔参加者〕川口支部13名、大宮支部14名、浦和支部16名。
- ・「会報浦和支部」第77号発行（3月31日）。
- ・定時総会（5月11日）〔場所〕さいたま市民会館うらわ〔議長〕福本恵会員〔会員数〕255名〔出席者〕174名（うち委任状119名）〔議案〕平成25年度事業報告、同決算報告、平成26年度事業計画案、同予





- 算案、支部規則改正、本会総会代議員、予備代議員の選任を審議、承認可決。
- ・政連定期大会（5月11日）。
- ・さいたま市（南区役所、中央区役所、緑区役所）において市民相談（相続遺言・内容証明）実施。
- ・日帰り研修旅行（6月28日）〔行先〕秩父、長瀨、妻沼聖天山、忍城公園。
- ・「会報浦和支部」第78号発行（8月1日）。
- ・新会員交歓会（9月19日）。新入会員5名参加。

- ・一泊研修旅行（10月4日5日）〔参加者〕27名〔行先〕富岡製糸場、四万温泉他。
- ・業務研修会（10月17日）〔テーマ〕「外国人が係わる場合の法人設立の注意点について」〔講師〕吉松昌晃本会国際部員。
- ・行政書士試験に協力（11月9日）。
- ・「会報浦和支部」第79号発行（12月1日）。

※表記している浦和市、与野市、大宮市は旧行政区名とする。



埼玉県行政書士会浦和支部 支部事業の展開

総 会

昭和38年に支部は発足したものの、まだ組織的な活動は活発でなく、事業計画・予算案・決算報告などの必要性が乏しかったせいか、資料によると総会の開催は支部発足後10年経過した昭和48年度からとなっています。

当時は、議長・副議長の2名で議事進行を務めていた記録があり、また、支部規則改正の必要性から昭和58年3月には臨時総会を開催するなど、現在の支部運営と同様にかなり厳格な形式で支部を運営してい

こうとしていた執行部の姿勢が見て取れます。ここにも浦和支部の会員が核となって本会の運営を進めていったことの足跡が残っているように見えました。

まだ会員数も多くない時期には、同一人物が複数年議長を務めるなど人材のやりくりの苦勞も垣間見えますが、平成に入ってから毎年新たに議長が選出されるようになりました。平成20年代になると女性議長も誕生し、時代の変化をうかがわせます。

回	年 度	歴代議長 (敬称略)	回	年 度	歴代議長 (敬称略)	回	年 度	歴代議長 (敬称略)
1	昭和48年度	不 明	15	昭和62年度	尾山 繁雄	29	平成13年度	嶋根 賢一
2	昭和49年度	不 明	16	昭和63年度	尾山 繁雄	30	平成14年度	大久保治光
3	昭和50年度	不 明	17	平成元年度	中島 智	31	平成15年度	関根 正
4	昭和51年度	不 明	18	平成2年度	中河 栄三	32	平成16年度	伊藤 誠
5	昭和52年度	三野輪寿美男	19	平成3年度	関 健一	33	平成17年度	山下 克彦
6	昭和53年度	不 明	20	平成4年度	中村 伸一	34	平成18年度	藤田 義晴
7	昭和54年度	三野輪寿美男	21	平成5年度	中村 紳一	35	平成19年度	山口 哲生
8	昭和55年度	不 明	22	平成6年度	宮下 進	36	平成20年度	矢野 直樹
9	昭和56年度	不 明	23	平成7年度	岡芹 武夫	37	平成21年度	利根澤 誠
10	昭和57年度	三野輪寿美男	24	平成8年度	土橋 武雄	38	平成22年度	小倉 隆
11	昭和58年度	厚沢 長三	25	平成9年度	岡芹 武夫	39	平成23年度	田幡 悦子
12	昭和59年度	田口 邦雄	26	平成10年度	小川 清美	40	平成24年度	日笠雄一郎
13	昭和60年度	宮本 敦	27	平成11年度	高畑 章	41	平成25年度	佐久間 康
14	昭和61年度	野崎 信広	28	平成12年度	赤坂 昌雄	42	平成26年度	福本 恵

車庫証明

昭和52年10月、社団法人日本自動車販売協会連合会（自販連）と日本行政書士連合会（日行連）は、車庫証明業務の取扱いについて次の二点で合意しました。①「自動車販売店（セールスマン等）はユーザーに対し、自動車保管場所証明書（車庫証明書）の交付申請書（添付書面を含む）は、必ずユーザー自身が記入作成するように奨めるものとする。」②「ユーザーが自ら交付申請書を作成しない場合は、セールスマン等は、ユーザー自身が行政書士に直接依頼するよう奨めるものとする。」

そして、上記の基本方針をそれぞれ傘下支部及び単位会に対し周知徹底を図ることとされ、特に行政書士会側に求められたのは、速やかに受入体制を確立することでした。

これを受けて埼玉県行政書士会（本会）には車庫証明委員会が設置されました（昭和52年）。さらに本会は自販連埼玉支部傘下のディーラー各社と車庫証明業務契約の締結に向けて交渉に入りました。

以上のような動きに呼応して、浦和支部は車庫証明業務の現場にもっとも近い組織として活発な活動を展開しました。主な動きはつぎのとおりです。

- すでに2年前に車庫証明業務センターを設置（昭和50年）。
- 各警察署を訪問して車庫証明業務での非行政書士排除を要請（昭和52年9月）。
- 「車庫証明業務受託処理規程」作成を検討（昭和53年）。
- 研修会の開催。①（テーマ）車庫証明の法規と実務（講師）浦和警察署交通課長②（テーマ）車庫証明の受託（講師）栗原委員長（昭和53年9月）。

- 車庫証明業務取扱者登録手続、浦和署管内、朝霞署管内グループ編成（昭和53年12月）。
- 車庫証明業務担当学会議開催。（議題）①車庫証明業務の経過報告②業務遂行についての対応策③新規受託先の検討（昭和54年9月）。
- 浦和支部は理事会決議を行い、本会に対して自動車販売会社との契約締結交渉を強力に推進すべき旨を要望（昭和55年3月）。

このような努力にもかかわらず、車庫証明業務はしばらく低迷していましたが、昭和59年頃からその成果が顕著に表れてきました。浦和支部全体の受託件数の推移をみますと、昭和59年は2,820件（対前年比37%増）、昭和62年は3,809件（対前年比25%増）、平成元年は7,858件（対前年比23%増）、そして平成2年の受託件数は7,931件とピークに達しています（「会報浦和支部」による）。

しかし、平成14年、いわゆる「行政手続オンライン化法」の施行を契機として、行政書士法19条但書が改正され、行政書士でない者の業務制限の例外として「定型的かつ容易に行えるものとして総務省令で定める行政手続きについては、当該手続に関して相当の経験又は能力を有する者として総務省令で定める者が電磁的記録を作成する場合はこの限りでない」と規定されました。そして、平成17年、同法施行規則が改正され、型式指定の新自動車の新規登録・検査及び車庫証明にかかる一定の電子的申請手続を「日本自動車販売協会」に公認することとなり、現在に至っています。

建設業

昭和51年10月23日付の「建設業許可申請業務について」と題する支部会員宛ての文書があります。その中で、関口隆支部長はつぎのように言っています。「行政書士業務が極めて広範囲であるためややもすると、その業務が他の業種に犯されたり非行政書士のばつこを許したりしている実情ですが、その中においても建設業許可業務についてはその被害は甚だしく、最近は他の地域より悪質極まりないモグリ業者が当県に侵入し、そのためベテランの会員ですらその業務が更新を含めて年々減少している状態です。」このような問題意識のもとに職域確保に向けて、つぎのような事業が展開されました。

- ・昭和51年11月、浦和支部建設業部会が発足。(参加支部会員) 26名。

(具体的事業) (1) PR用パンフレット配布。(対象) 建設業者約2,000社(浦和支部区域・浦和市、与野市、朝霞市、志木市、和光市、新座市)。(内容) ①行政書士業務の内容のPR ②非行政書士の不法性を訴え。(注) 切手代各自負担。

(2) 建設業専門行政書士の名簿作成～名簿には「経審、入札参加、建設業許可、更新、申請手続きは専門の行政書士へ」と呼びかけ。

- ・昭和52年3月26日、第1回建設業務部会開催。(1) ニセ行政書士排除、職域確保。(2) 建設業許可更新、指名入札参加資格申請などの標準報酬額の検討。(3) 経審入札資格申請会場における行政書士相談コーナーの新設。

- ・昭和52年9月15日、第2回建設業務部

会開催。(1) 小栗重昭氏を部会長に推薦。(2) 今後の活動方針①業務拡大②非行政書士排除③新たに建設業務を行う会員の研修指導④申請用紙の頒布。

- ・昭和53年10月、浦和支部建設業務部会の主催で研修会を開催。(内容) ①建設業許可申請手続き②入札参加申請手続き。
- ・昭和53年11月27日、緊急部会開催。(1) 指名入札参加資格申請書等作成取扱行政書士名簿の作成、配布の件。(2) 経営事項審査等に関する説明会受付、受講の件。(3) 経審入札資格申請会場における行政書士相談コーナー新設の件。
- ・昭和54年1月～2月、埼玉県建設工事入札指名参加受付会場相談コーナー開設。
- ・昭和54年11月17日、業務別研修会(建設業)開催。



市 民 相 談

現在、さいたま市内の3つの区役所（南・緑・中央）にて毎月行われている「行政書士による無料相談会」。例年、多数の支部会員が参画されていることから、「浦和支部の中核事業の一つ」と言っても過言ではないでしょう。

その歴史は古く、実に約40年前までにさかのぼります。昭和51年10月1日に浦和市役所にてはじめて開催されました。

当時の資料を紐解きますと、この初開催に際し、中川健吉浦和市長（当時）より、以下のようなお言葉が支部に寄せられたようです。

「市役所としても画期的なことであり、短期にその成果を期待せず長期展望の上にたって行政書士業務について市民の理解と協力によって逐次その効果があらわれる。そして市民へのサービスが結実するものでしょう。」

現在では、士業による市民相談は各地で「当たり前」のように行われていますが、当時の資料を紐解きますと、当時としては実に画期的であったことが分かります。また、この中川健吉浦和市長（当時）のご意向を受け、先輩方がまさに長期展望に立って活動を地道に積み上げられ、現在につながっていることを忘れてはなりません。

浦和市役所での成功と実績により、平成元年11月より与野市役所でも市民相談が開催されるようになり、その後、「平成の大合併」による行政区画の改変などもあり、平成19年より現在の姿で運用されています。また、毎年10月全国一斉に実施される行政書士制度広報月間に合わせて「行政

書士無料相談会」が実施されるなど、地域に根ざし、また、先輩方の想いを継承すべく活動を行ってきております。

この市民相談には、時代背景に呼応する形での相談が寄せられているようです。最近では、超高齢化社会も相まってか、遺言・相続に関する相談がかなりのウェイトを占めているようです。

裏を返せば、こうした相談の一つ一つが、市民の方々の行政書士に対するニーズを映す鏡と言えるのではないのでしょうか。こうした「街の声」に一つ一つ誠実に対応していくことが、「街の法律家」としての活動のフィールドを広げ、行政書士の地位の向上につながるものと思われます。

先輩方が作ってくださった市民相談の「一本の道」を、長期展望に立ってもっと太いものとしていくことが我々に課せられた責務なのではないのでしょうか。



研修

浦和支部は昭和38年に発足しました。しかし、当初は活動らしい活動をしていないようでした。昭和50年に支部活動が活発になってきます。その動きとあわせて、浦和支部の研修事業も活発になってきます。昭和50年から平成25年度までの38年間で合計63回の研修事業が行われていますが、昭和59年から平成3年の約8年の間、講義形式の支部研修会は行われていないようです。平成4年に支部研修が再開されてから毎年、年2回から4回のペースで開催されています。研修が支部の恒例行事となったのは、平成に入って少し経ってからということになります。

支部研修会の内容を見てみますと許認可等が29回、権利義務関係が15回、事務所経営が7回、その他が12回となっています。昭和と平成前期は許認可が多いですが、平成10年代になると権利義務関係、特に相続関連の研修が目立ってきています。

相続に関しては昭和58年に「相続と遺言」というテーマで初めて相続関連を取り上げています。その後平成5年、12年、20年、21年、22年、23年、25年と平成20年代になると毎年のように相続関連の研修が行われています。

事務所経営に関しては昭和50年に「私はこうして行政書士業務を開拓した」が開催されました。その後平成9年、平成11年、平成13年、平成16年、平成20年、平成21年に各1回ずつ事務所経営に関する内容の研修が開催されています。行政書士の事務所経営に関してはどの時代をとおしても、重要なテーマであったことがうかがえます。

また、特徴のある内容の研修としては、バブルが崩壊した後の平成9年に「住専問題と競売手続き」が開催されました。平成14年には「国際標準規格ISO9001について」、平成15年には「国際標準規格ISO14001について」が開催されました。ISOは許認可申請ということだけでなく、中小企業に対してのコンサルタントの要素が必要になる行政書士業務です。平成25年には「たった15秒で好感度が上がる声の磨き方・話し方」が開催されました。行政書士業務が少しずつ変化していることが、これらの研修内容からもうかがえます。

研修の形式も様々なやり方があったようです。普通は講義形式ですが、平成元年には「テーマを設けない対話研修会」を開催し、参加者各自が業務上の問題点を発表、討論をするという形式のものも行われました。1泊研修旅行の中に講義式の研修を開催したり、浦和支部会報の中で「紙上研修」という形のものもあります。浦和支部では努力と創意工夫により、実にバラエティに富んだ支部研修に取り組んできたことがわかります。



一泊研修旅行

一泊研修旅行は、会員の親睦を深め、新会員に開業の苦労話や、業務の進め方を伝え、支部の活動に協力してくれる人材の発掘にあります。記念すべき第1回の旅行は昭和53年11月12日（日）～13日（月）に開催され、目的地は福島県の甲子温泉、参加費は一人9,000円、担当は企画部がその任に当たりました。

昭和53年11月12日～13日	福島甲子温泉
昭和62年10月25日～26日	伊豆大滝温泉天城荘 36名参加
昭和63年10月15日～16日	奥磐梯 33名参加
平成元年11月3日～4日	天津小湊 40名参加 会費12,000円
平成2年10月13日～14日	駒ヶ根高原木曾路 28名参加 会費15,000円
平成3年11月4日～5日	奥久慈袋田の滝 37名参加
平成4年10月24日～25日	嬬恋村万座温泉 31名参加
平成5年10月23日～24日	上田別所温泉 33名参加
平成6年10月22日～23日	福島白河の関 38名参加
平成7年11月11日～12日	伊豆大島 34名参加 当初飛行機の計画あり
平成8年10月19日～20日	南会津南郷村
平成9年9月6日～7日	越後湯沢 来賓大宮支部長
平成10年10月17日～18日	海ほたる 勝浦 22名参加 南房総しらさぎ荘
平成11年10月9日～10日	日光 片品村 21名参加 民宿やまゆり宿泊
平成12年10月28日～29日	箱根 伊豆修善寺 20名参加
平成13年10月20日～21日	二本松岳温泉 塩谷岬 17名参加
平成14年10月19日～20日	福島裏磐梯日中温泉 19名参加
平成15年11月15日～16日	福島裏磐梯日中温泉 28名参加 来賓甘楽大宮副支部長、尾山常任相談役による研修会実施
平成16年10月9日～10日	新潟県鵜の浜 19名参加
平成17年10月15日～16日	茨城県五浦温泉西山荘 20名参加
平成18年10月14日～15日	甲斐駒ヶ岳 長野 蓼科パークホテル 22名参加
平成19年9月29日～30日	長野県戸倉川中島松代 上山田温泉泊 22名参加
平成20年9月21日～22日	伊豆稲取温泉赤尾温泉ホテル 22名参加 来賓露木大宮支部長
平成21年9月26日～27日	米沢 小野川温泉 26名参加
平成22年9月25日～26日	上高地飛騨高山 27名参加 来賓斉藤大宮支部長 ※総務厚生共催
平成23年9月17日～18日	足尾銅山 湯西川 鬼怒川温泉泊 27名参加 ※以降厚生部主催
平成24年9月29日～30日	西福寺 大湯温泉泊 25名参加 来賓露木大宮支部長
平成25年10月5日～6日	被災地仙台松島石巻女川 25名参加 来賓荒岡本会会長、福田大宮支部長
平成26年10月4日～5日	富岡製糸場 四万温泉 27名参加 来賓荒岡本会会長、福田大宮支部長

日帰り研修旅行

第1回の日帰り研修旅行は、昭和62年6月6日、行先は奥多摩秋川渓谷。参加者29名。会費は4,000円。以後毎年開催されました。

昭和63年6月5日	比企・入間路 26名参加
平成元年6月11日	益子 37名参加
平成2年6月3日	足尾銅山 36名参加
平成3年6月2日	奥多摩武蔵野陵 36名参加
平成4年6月7日	筑波山 29名参加
平成5年6月6日	日光鬼怒川 32名参加
平成6年6月6日	埼玉北田山花袋故郷 36名参加
平成7年6月4日	大滝村 36名参加
平成8年12月7日	見沼ヘルシーランド(リクリエーション)
平成9年6月8日	横浜 桜木町集合
平成9年10月6日	隅田川屋形船 江東区三好 24名参加 南浦和駅集合
平成10年8月1日	屋形船 江戸東京博物館 36名参加 柴田良治氏病気快癒
平成11年3月27日	彩湖一周ハイキング 14名参加(リクリエーション)
平成11年6月6日	小江戸川越 28名参加 西浦和駅集合
平成11年11月6日	大宮公園ハイキング 16名参加 (リクリエーション)
平成12年7月15日	NHKスタジオパーク 30名参加 原宿駅集合
平成13年6月30日	秩父から山梨西沢渓谷
平成14年3月30日	岩槻郷土めぐり 18名参加 (リクリエーション)
平成14年7月6日	白糸の滝から富士山5合目 27名参加 さいたま市役所集合
平成15年6月21日	水郷潮来から香取神社 33名参加 さいたま市役所集合
平成16年3月5日	皇居東御苑旧江戸城 22名参加 東京駅北口集合(リクリエーション)
平成16年6月19日	秩父棕神社龍勢まつり 20名参加
平成17年6月25日	袋田の滝 29名参加 さいたま市役所集合
平成18年3月4日	小石川植物園 巣鴨駅集合(リクリエーション)
平成18年6月24日	小諸ワイナリー 別所温泉 海野宿 23名参加 さいたま市役所集合
平成19年6月30日	三浦半島城ヶ島三崎 27名参加 さいたま市役所集合
※リクリエーションは本年をもって終了。次年度より総務部主催の日帰り研修を厚生部に移管	
平成20年6月28日	六本木ヒルズ フジテレビ 25名参加 さいたま市役所集合
平成21年7月4日	つくば宇宙センター 35名参加 さいたま市役所集合
平成22年6月26日	薬師温泉 38名参加 さいたま市役所集合
平成23年7月9日	築地市場 スカイツリー 38名参加 屋形船 さいたま市役所集合
平成24年7月7日	妙義神社 軽井沢 脇田美術館 34名参加 さいたま市役所集合
平成25年7月20日	予科練平和記念館 大洗各所 33名参加 さいたま市役所集合
平成26年6月28日	秩父 妻沼 羽生PA 33名参加 新都心駅集合

新会員交歓会・新年会

【新会員交歓会】

新会員交歓会は、その年に入会した新入会員と支部長をはじめとする支部の幹部との交流の会です。昭和55年より概ね年に1回程度行われ、現在では企画部が主管し、毎年多くの新会員が参加しています。

支部の幹部の先生方としては、新入会員の顔や人となりを知ることができ、また新入会員としても百戦錬磨のキャリアを積んだベテランの先生方から実務の勉強方法、事務所の運営方法、顧客との接し方、集客のノウハウ等を学べる貴重な機会となっています。

新入会員は、はじめは緊張の面持ちであるものの、乾杯後は和気あいあいと打ち解け、笑顔に変わっていく姿が例年の風物詩となっています。

浦和支部は、250名弱の会員数を有する全国でも最大規模の支部となっております。大所帯であるがゆえに「顔が見えない」「支部会員同士の横のつながりが希薄になりがち」などところもあります。

一方では、行政書士は個人開業が大多数を占め、孤独な作業が多く寂しさを感じることも多々あります。

愚痴や悩みを気軽に話せる仲間を見つける場として、また業務を進める上で困ったことがあった場合などにちょっと相談できる頼もしいベテラン先生と出会う場として、支部には「心のよりどころ」のような役割が求められるところです。

とにかく心配事や悩みが多い開業したばかりの新入会員にとって、その「心のよりどころ」との最初の接点である新会員交歓会は、重要な位置を占めています。

【新年会】

「一年の計は元旦にあり」の諺ではないですが、年の始まりの風物詩である新年会も支部行事として行われております。

過去には浦和市街の料理店を貸し切って行われていたようですが、近年は市民会館うらわにて、埼玉県行政書士会会長をはじめ、近隣支部（大宮・川口）の支部長を来賓としてお迎えして盛大に行われています。過去には浦和市長のご臨席を賜ったこともあり、現在よりも盛大に行われていたようです。

例年、支部長挨拶の後、ご来賓の方々にご挨拶を賜り、その後懇親会という次第となっています。

支部報によりますと、支部長やご来賓の方々などの挨拶では、一年の始まりとあってか、大きな抱負や自らの初心を顧みるようなお言葉が多く、一同、新たな刺激を受けるようです。

また、懇親会でも、一年の先行きに対する前向きな話が繰り広げられるようで、他の行事よりも笑顔が多いように思われます。

新年の恒例行事の新年会ですが、歴史を紐解きますと、過去に一度だけ「懇親会」として行われたことがあります。昭和64年1月7日に行われるはずだった「新年会」は、当日に昭和天皇がご崩御されたこともあり、自粛ムードの中、急遽「懇親会」に変更されて滞りなく行われたようです。朝一で飛び込んできた大きなニュースにどう対応するのか、当時の支部長をはじめ幹部の先生方はとてもご苦労されたことでしょう。

昭和から平成にかけて脈々と続けられてきたこの新年会。今後も年の初めの恒例行事として引き続き末永く開催されていくことでしょう。

会報浦和支部

会報浦和支部は今年度（平成26年度）第78号（平成26年8月1日発行）をもって紙面を刷新し、これまでの「縦書き・白黒」から「横書き・カラー」となりました。A4判4ページ（A3判二つ折）のサイズはそのままです。浦和支部広報紙はこれまでずっと縦書きであったとの認識でいましたが、実は、現存する浦和支部報第1号は横書きでした。ここに、知り得る限りの支部広報の変遷について記しておきます。

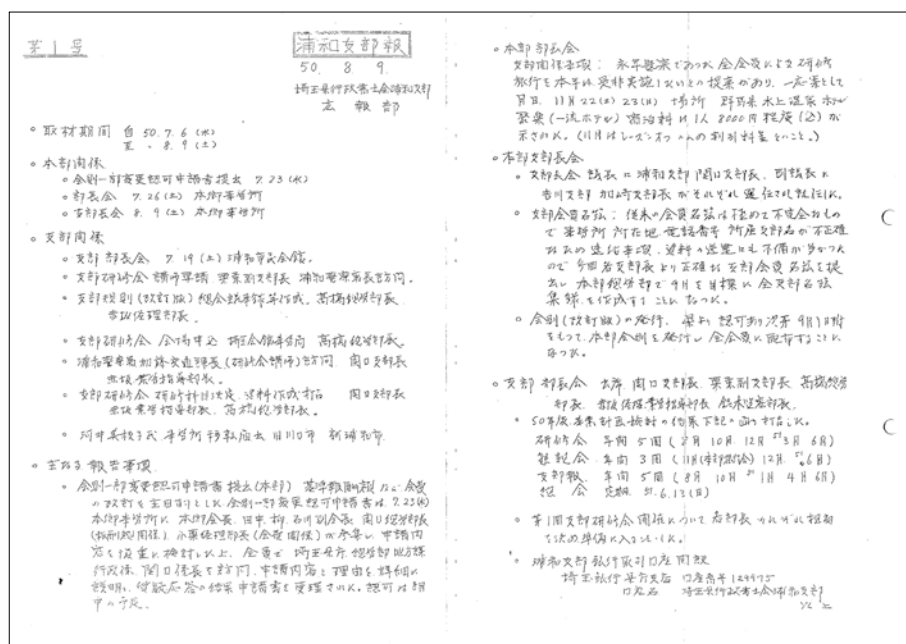
昭和50年8月9日付で、手書き、ガリ版刷りB5判2ページ（B4判二つ折）で発行されている浦和支部報が第1号と思われます。ここには、本部や支部の会議の報告とともに、第1回支部研修会開催の準備に入ることなどが記されています。

そして、何号からかは定かではありませんが、タブロイド版の広報紙（ここから縦書き）が発行され、これは昭和60年8月31日発行の第17号が最後となりました。手元に残るもっとも古いタブロイド版は昭和51年5月1日発行の第4号ですが、これは本文13ページにも及ぶ立派なものです。内容から、支部研修会が4回行われたことが分かります。また、この頃盛んに車庫証明業務に関する文書が出されていて、車庫証明業務を行政書士業務に組み入れようとする熱意が感じられます。

昭和60年7月1日発行の第18号からは、B5

判4ページ（B4判二つ折）となり平成9年7月20日発行の第39号からは、現在のA4判4ページとなりました。字数の制限上、内容の詳細について触れることはできませんが、紙面からは浦和支部の活動が昔から充実していたことが読み取れるとともに、その時々々の正副支部長や各役員のご苦労が偲ばれます。

「会報浦和支部」は浦和支部の歴史をそのまま伝えるものであり、自分たちもその歴史の流れの中の一滴として存在していることを感じさせてくれます。第1号以来の執筆をされた方々、編集、発行に携わってこられた方々に感謝し、このリレーを続けていくことの意義を改めて認識しました。



浦和支部報第1号

ホームページ

インターネットの普及と共に、ホームページを持つ支部が増え、浦和支部でも支部のホームページを！との声が会員の間から上がるようになってきました。

そして、平成18年5月13日開催の定時総会で、広報部担当事業として、支部ホームページの開設が承認可決されて実現に向けて動き出しました。

その後、理事会の承認を得て、ホームページプロジェクトが立ち上がりました。メンバーは、関健一副支部長、小栗重美総務部長、山崎智博広報部長、大久保治光厚生部長、早坂舜企画副部長、藤田義晴厚生副部長の6名（役職は当時のもの）です。

支部ホームページを開設する上で、問題となったのは、ホームページの作成と管理を、支部自ら行うのか、それとも専門の業者に委託するかという点です。支部自ら行う場合、ホームページについてのノウハウを持つ特定の会員に依存することになり、中長期的に安定した支部ホームページの運営が困難ということで、専門業者に委託することになりました。そこで、専門業者3社によるプレゼンテーションを行い、デザイン性や料金等を総合的に判断して、現在、委託している業者を選びました。業者に委託と言っても、ホームページの具体的な中身（コンテンツ）は、支部で決めて、支部からの指示に基づいて業者がホームページを作成してインターネット上にアップするようになっています。

なお、ホームページの具体的な内容を決める際には、行政書士会パンフレット等の各種資料を参考にしながら検討しました。

こうして、平成20年3月末に、浦和支部のホームページが開設されました。

ホームページは、開設したら終わりではありません。定期的に最新の情報に更新していく必要があります、広報部で更新を担当しています。

現在は、偶数月に更新しています。支部会員数や会員名簿は、最新のデータに基づいてチェックしています。会員のページ内でも、事業報告及び予定は、最新の情報が載るようにしていますし、フォーマットリンクのリンク切れもチェックしています。さらに、毎年10月に開催する無料相談会や、平成26年2月に開催した50周年記念事業の講演会のように一般の方々の参加を呼びかける行事については、トップページに大きく案内を載せるようにしています。

また、支部ホームページを訪れる方のデータを分析したところ、会員名簿を見る方が多いことが分かりました。そこで、平成22年8月より、会員名簿に各会員の主な取扱い分野を掲載し、情報の充実を図りました。

支部ホームページには、会員への情報提供、一般の方々への広報という二つの大きな役目があり、今後も着実な充実を図っていきたいと考えています。



定期健康診断

浦和支部50年の歴史の中で、特徴ある事業の一つが、定期健康診断です。支部としての集団検診は昭和54年から平成元年まで毎年欠かすことなく実施され、受診者は年21名～30名、11年間にわたり延べ288名が受診しています。

この活動が発足してからの経緯をたどてみると、「待望の集団検診実施」のタイトルで最初の検診が行われたのは、昭和54年10月27日でした。これに先立ち、「われわれの健康は、われわれの手で」と、支部組織に、当時としては画期的な厚生部が設置されました。また、支部主催で産業医による講演会を開き、予防医学の重要性を説き、健康診断に対する参加者の深い関心呼び起こしました。

昭和57年度の会報浦和支部には、健康診断事業は県下23支部の中で浦和支部だけが実施しているものであり、県書士会や他支部からも高く評価されていることや日本行政書士会連合会の関係者からも注目されていることが書かれています。また、当時は、支部会員の3割以上が受診したとの記録もあります。

昭和59年度の会報浦和支部には、健康診断で血圧が異常に高いと指摘を受けたのをきっかけに食事や日常生活を見直し、健康を取り戻したとの経験談も掲載され、「同支部自慢の事業である」との言葉も見えます。

しかし、平成2年になると、県の行政書士会が「成人病検診・生活習慣病健康診断」を実施するようになり、浦和支部はこれに

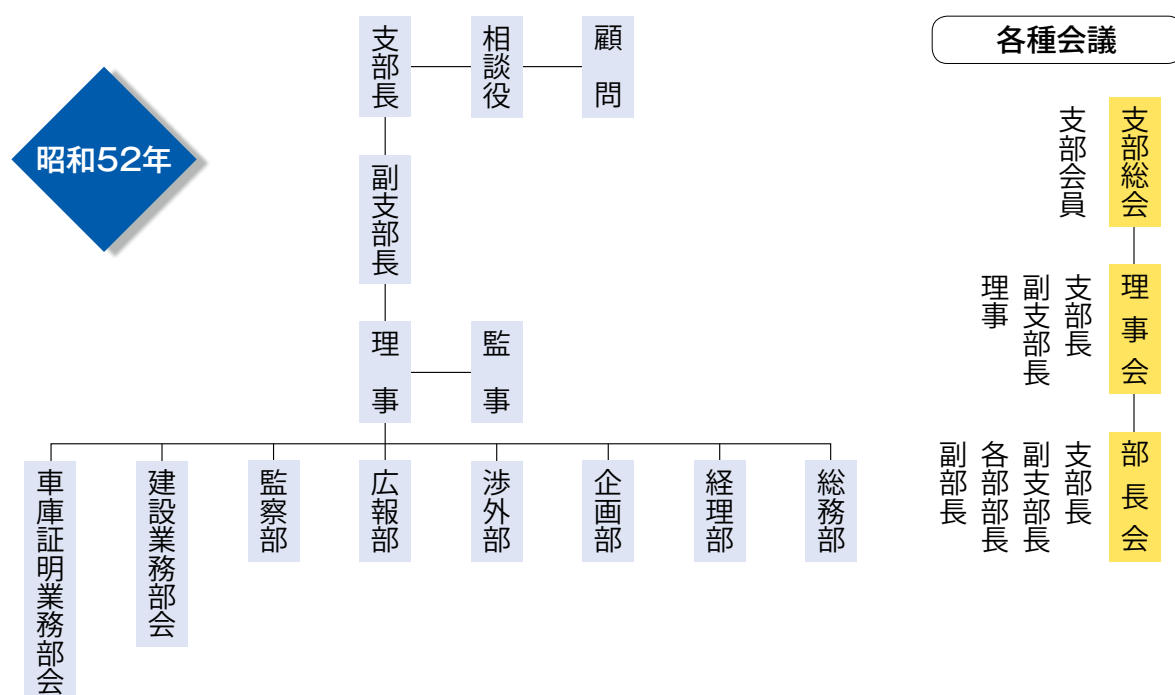
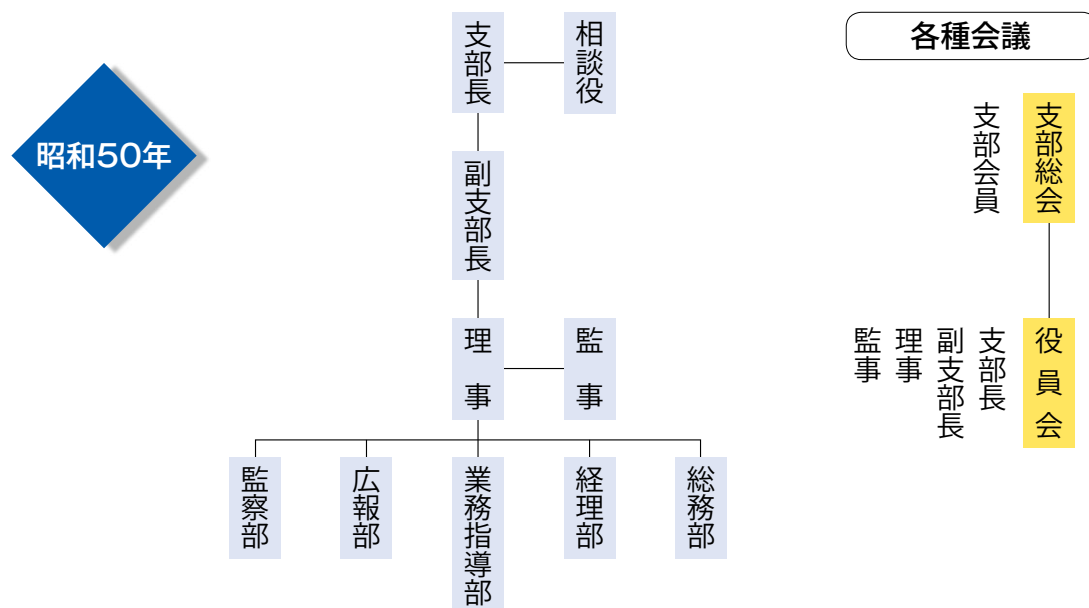
合流することとなりました。結果、支部独自の事業としてはこの時点で終了することになります。

さらに、現在では、さいたま市の特定健康診査、がん検診、国保人間ドック等が充実してきており、その歴史的役割を終えた形となりました。

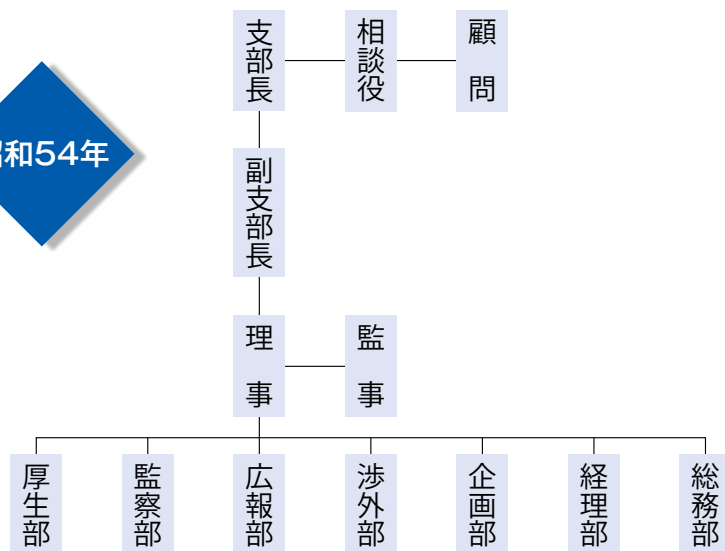
行政書士などの自由業は自分自身の健康管理がおろそかになる傾向があり、当時は検診等の機会を得にくい立場にありました。そのような時代にあって、支部自らがこのような事業を創設したことは、浦和支部の先進的な気質を表すものであり、他支部や県書士会に与えた影響も大きく、高く評価されるものでしょう。



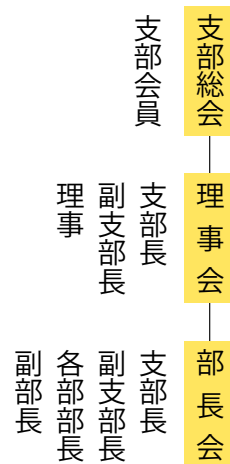
埼玉県行政書士会浦和支部
支部組織の変遷



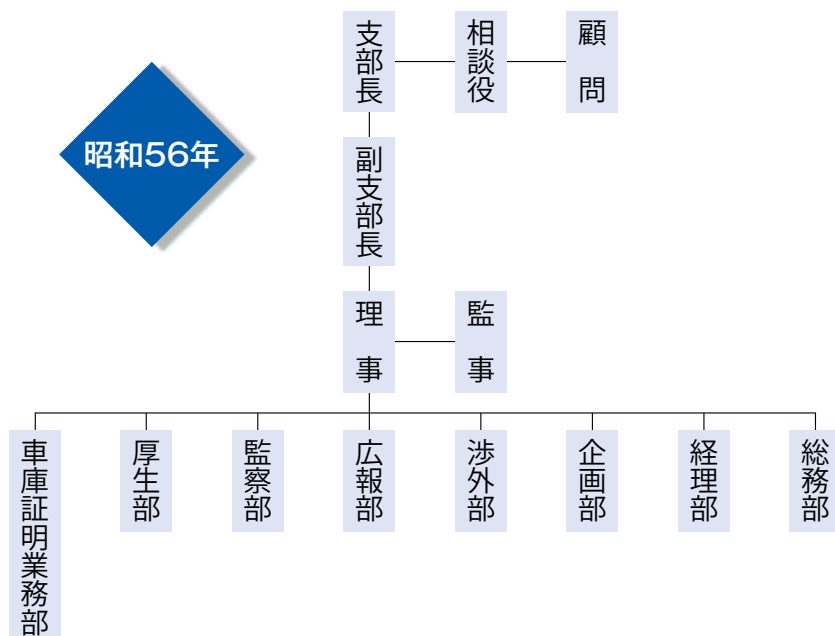
昭和54年



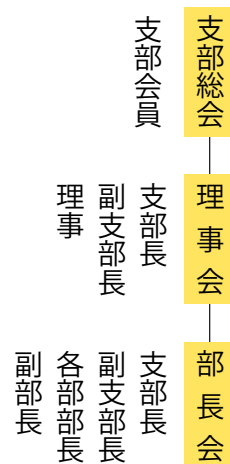
各種会議



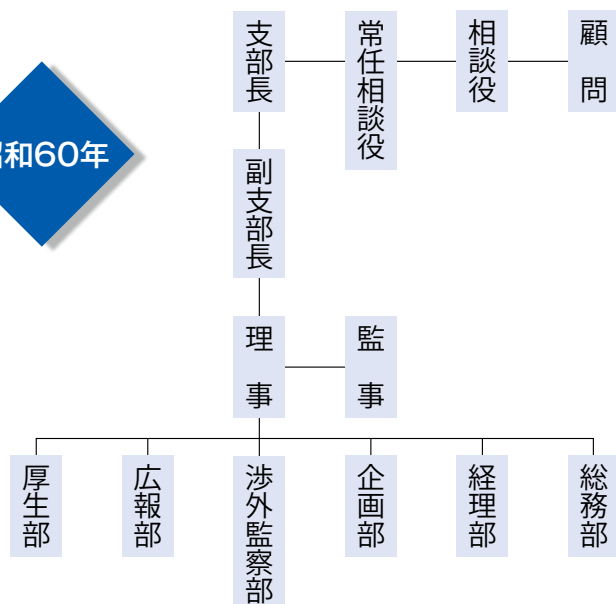
昭和56年



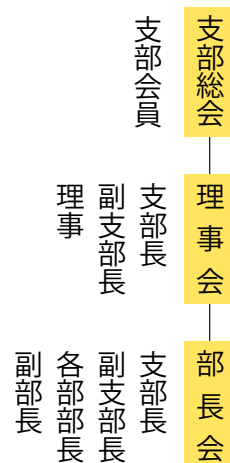
各種会議



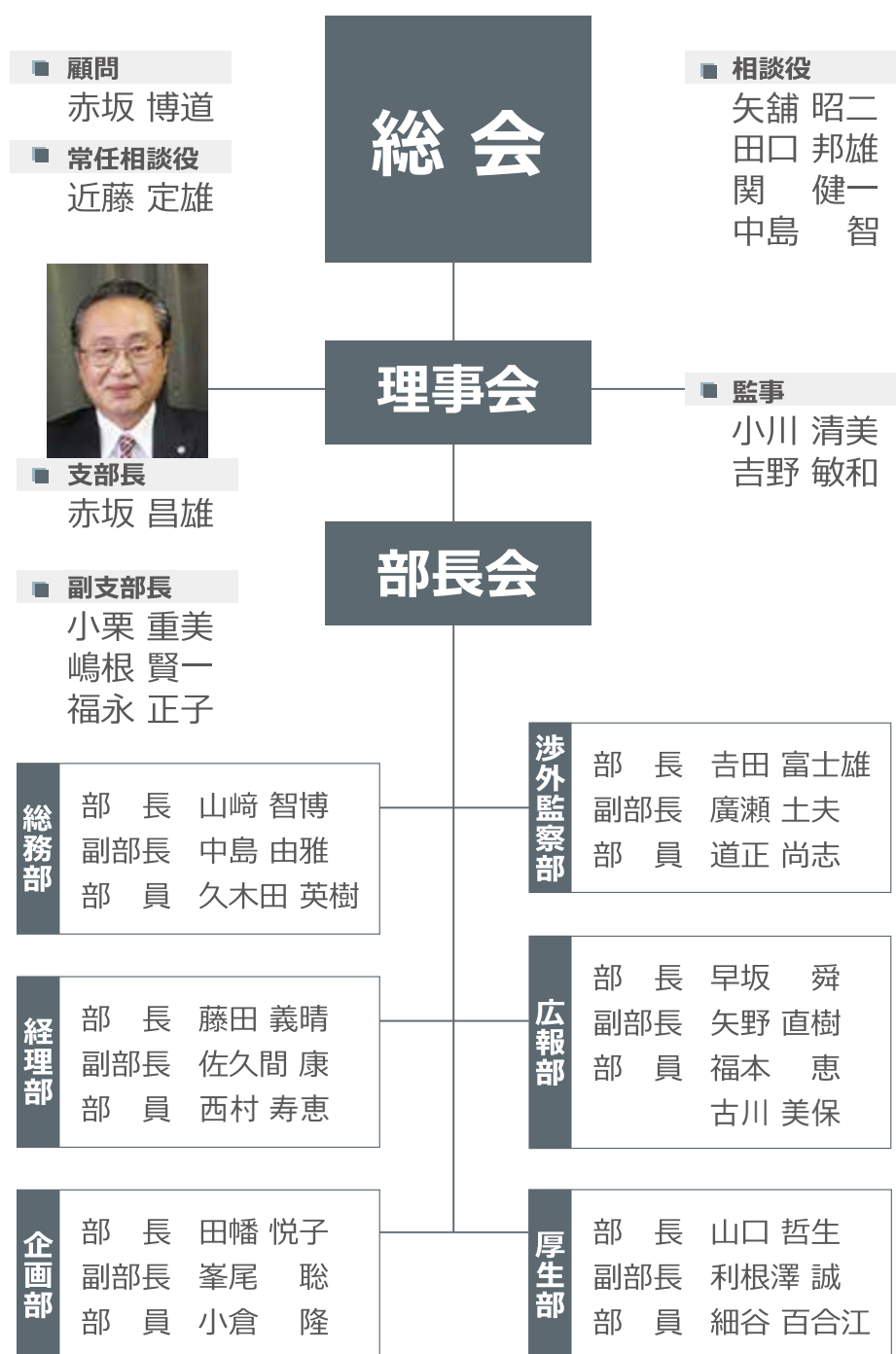
昭和60年



各種会議

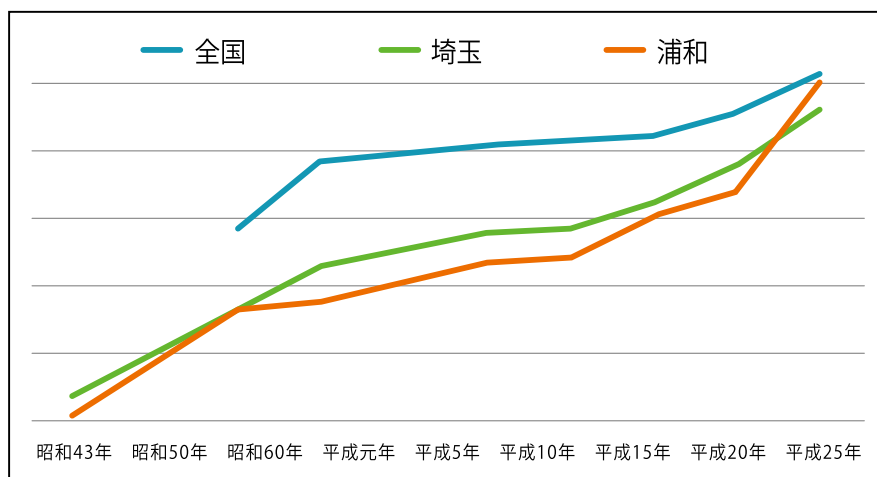


埼玉県行政書士会浦和支部 組 織 図



埼玉県行政書士会浦和支部 会員増加率の推移・年間行事

浦和支部会員増加率の推移



※このグラフは各単位の会員数ではなく、会員増加率を表しています。

浦和支部年間行事

4月	市民相談会(各区役所にて毎月3回)
5月	定時総会
6月	業務研修会
7月	日帰り研修旅行
8月	「会報浦和支部」発行
9月	一泊研修旅行、新会員交歓会
10月	行政書士制度広報月間 行政書士無料相談会(浦和コルソにて開催) 業務研修会
11月	行政書士試験
12月	「会報浦和支部」発行
1月	新年会
2月	業務研修会
3月	「会報浦和支部」発行 近隣支部(浦和・川口・大宮)との協議会

■ 編集後記

このたび埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念誌を発刊する運びとなりました。この事業にご理解とご協力をいただいた関係各位に対して心から感謝するとともに敬意を表する次第です。

埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念事業として、平成26年2月22日、支部創立50周年記念講演会及び祝賀会が盛大に挙行されました。そして、平成26年5月、定時総会において次年度の事業として記念誌の発行が承認されました。平成26年6月1日、第1回埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念誌プロジェクト会議が開催され、その後数回にわたる編集会議の開催を経て今日に至ったものですが、その間、プロジェクトメンバー各位におかれては本誌の上梓に向けて大変なご努力をいただきました。

編集方針としては、①浦和支部の歴史を考える際に基礎資料となりうるようなものにする、②見て分かりやすいものにするのを考えました。

また、本誌の構成については、巻頭に①記念式典関係、②支部50年の歩み、③支部事業の展開、④その他としました。

本誌の編集過程を顧みて反省すべき点は多々ありますが、貴重な資料を提供してくださった諸先輩の方々、及び本誌のデザイン構成や印刷製本等に関与された株式会社アートツリー出版社に対してプロジェクトメンバーを代表して深甚なる謝意を表する次第です。

本誌が行政書士業務に対する理解を深める一助となり、また行政書士制度、及び行政書士会の発展にいささかでも寄与し得れば幸いです。

ご協力いただいた関係各位には重ねて厚くお礼申し上げます。

埼玉県行政書士会浦和支部
創立50周年記念誌プロジェクト
リーダー 関 健一

■ 埼玉県行政書士会浦和支部 創立50周年記念誌プロジェクトメンバー

関 健一	福永 正子
山崎 智博	藤田 義晴
佐久間 康	矢野 直樹
古川 美保	大森 靖之



埼玉県行政書士会浦和支部創立50周年記念誌

発行日 平成27年3月25日
発行者 埼玉県行政書士会浦和支部
題 字 赤坂昌雄
デザイン 株式会社アートツリー出版社
印刷・製本 関東図書株式会社

